

# 校友会報

一般社団法人  
工学院大学校友会  
Kogakuin University  
Alumni Association 2019  
vol.140



# 校友会とは

校友会は学校法人工学院大学が設置した学園内の各種学校の卒業生を会員とし、相互の親睦と連携ならびに学園の発展を願って支援を行うことを目的とした団体です。

## ■校友会とは

### ◎校友の親睦と連携

人は社会において働くだけでなく、余暇を共に過ごせる仲間が必要です。校友会は同じ学園を卒業した仲間が、親交を深め、仕事や趣味に生かせる交流の場を提供し、卒業生の人生を豊かにするための活動をしています。

### ◆校友会の目的

#### 学園の教育事業への援助 出身者相互の親睦

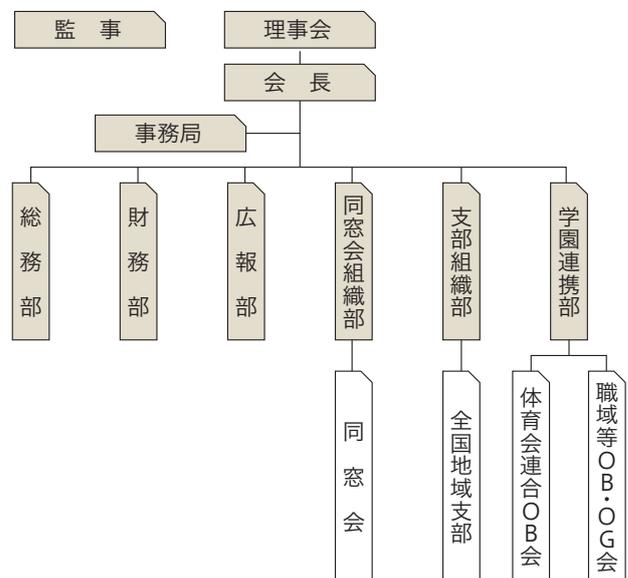
1. 学園への協力
  - 学園寄付金活動への協力
  - 新校舎等建設資金援助
  - 学園理事・監事・評議員として学園運営の参画
2. 在学(校)生への援助
  - 学園祭等の援助 ●クラブ活動の援助
  - 奨励金の支給
3. 会員のスキルアップ活動
  - 講演会の開催 ●見学会の開催
  - 講習会の開催 ●異業種交流会の開催
4. 会誌等の発行
  - 会誌の発行 ●校友会のしおりの発行
5. 親睦活動
  - 親睦会の開催 ●支部活動への援助

### ◎学園支援

校友会は、優秀学生の表彰、優秀活動の顕彰、大学学園祭やクラブ活動、附属中学校・高等学校の夢工祭や助成金制度による学生・生徒の活動に対する援助を行うと共に、卒業生がこれまでのキャリアを生かした就職支援、学園の知名度向上、その他ボランティア活動を行っています。

## ■組織図

一般社団法人工学院大学校友会 組織図



## ■役員紹介

### 会長



**田中英生**  
1965年卒業  
大学機械工学科

### 理事



**植木 幸裕**  
総務部長  
1975年卒業  
大学機械工学科



**相澤 良夫**  
財務部長  
1968年卒業  
専門学校機械科



**佐藤 弘規**  
広報部長  
1999年卒業  
大学建築学科



**小澤 和重**  
同窓会組織部長  
1973年卒業  
大学電気工学科



**上野 耕平**  
支部組織部長  
1973年卒業  
大学電気工学科



**長谷川 努**  
学園連携部長  
1971年卒業  
大学電気工学科



**鄭 雄飛**  
財務部副部長  
1964年卒業  
附属高校建設科

### 理事



**渡辺 征三**  
支部組織部副部長  
1968年卒業  
専門学校機械科



**若林 勝司**  
総務部  
1969年卒業  
附属高校普通科



**湯尾 慶一**  
財務部  
1984年卒業  
大学機械工学科



**志村 豊**  
学園連携部  
1973年卒業  
大学工業化学科

### 監事



**島林 正美**  
1974年卒業  
大学電気工学科



**楠 昭**  
1974年卒業  
大学建築学科



**山川 義則**  
1968年卒業  
専門学校機械科

### 事務局長



**関谷 重彦**  
1965年卒業  
大学機械工学科



10



19



31

## ご挨拶

一般社団法人工学院大学校友会 会長 田中 英生	02
学校法人工学院大学 理事長 後藤 治	03
工学院大学 学長 佐藤 光史	03
工学院大学附属中学校・高等学校 校長 平方 邦行	03

## イベント報告

平成30年度第6回全国支部長会報告	04
第6回 定時社員総会(第62回総会)報告	05
科学教室 校友会ふれあいコーナー報告	06
新春の集い2019報告	07

## 学園トピックス

学園	08
大学	10
附属中学校・高等学校	11
学生プロジェクト	12

## 同窓会特集

校友会特集	14
機械系同窓会	16
化学系同窓会	18
電気系同窓会	20
建築系同窓会	22
附属高校同窓会	24
専門学校同窓会	26

## 支部特集

群馬県支部／石川県支部／山口県支部／高知県支部	28
-------------------------	----

## 各部会の報告

総務部／財務部／広報部／同窓会組織部／支部組織部／学園連携部	32
--------------------------------	----

## 事務局の報告

主な行事予定／表彰学生・生徒／学術講演会	34
受章報告／訃報／最後の「7機同期会」開催報告／体育会連合OB会	35
著書紹介／生涯メールサービス／施設利用	36
次期会長挨拶／次期副会長挨拶／次期役員／支部長紹介	37
維持協力会費納入者ご芳名	38
広報部からのお知らせ	

# ますますの校友会の発展に向けて

皆さん、こんにちは、会長の田中です。

2019年度がスタート致しましたが、昨年我々を取りまく環境の中で色々な事がありました。そういった中で、校友会の施策も学園の事業計画も順調に推移しており、校友会と学園との連携も規模が拡大し、より強固になってきたと思います。

その中から特筆すべきいくつかを拾い出して少しお話をします。

1. 昨年は学園の組織の中に寄附・校友会担当部という校友会との連携を進める部門が立ち上がりましたが、校友会も学園へ定期的に定額の寄附をする事を決めました。学園の中での校友会の存在感向上の一助となると考えております。

2. 支部活動につきましても、全国大会は大分支部のみではなく、佐賀、宮崎、鹿児島などの近県が協力し合って盛大にという動きも出ております。その他の地方支部でもスケールメリットを期待して合同イベント等が進められており、関西支部連合大会、中国ブロック大会、東北6県交流会など、いい結果が出始めております。

そして、5番目に多い校友を抱えます静岡県が支部を立ち上げ、その後、青森支部が立ち上がりました。活躍を期待したいと思います。

3. 学園の科学教室、ホームカミングデーなどのイベントへも飾り炭、スーパー竹と

んば、地酒バー、そば打ちなど多くの校友の皆さんの協力を頂いております。

協力頂きましたみなさん、お疲れ様でした。

4. 昨年、学生時代のメールアドレスを本人のIDとしてそのまま卒業後も使用できないかという調査を学園と行っていると申し上げました。現在の学生の皆さんのメールアドレスは、卒業と同時に無効になっており、その為にその後の連絡が途絶えがちになり、急速に学園とのつながりが薄れて行く事が避けられませんでした。

新たな連絡環境を整備しようという目的で進められていましたこの作業が実施できる運びとなり、今年の3月に卒業する皆さんより付与します。

すでに卒業している皆さんについても今後希望者には同様のメールアドレスが付与できるとの事であります。

4年前にわたくしは「校友会の更なる活性化に向けて」という目標を掲げて進めてまいりましたがいい結果が出始めており、ご苦労されている皆さまにお礼申し上げます。

これらのいい結果を校友の皆さんに提供し続ける為には後続く若い皆さんに支えてもらわなければなりません。若い皆さんにどんどん校友会活動に参加して頂ければと思います。



一般社団法人工学院大学校友会 会長

**田中 英生**

## 他校にない 独自性を磨く

本年は、来る5月の総会から新体制がスタートすること、校友会のますますのご発展を祈念いたします。

都内大学の定員抑制、入学者数の厳格化に、本年は消費税上げが加わる予定で、学園の経営は一段と厳しさを増しております。厳しい状況のなか、本学が他校との競争に勝ち学生・生徒に選ばれる学園となるには、学内全ての分野で改革を積み重ね、本学の独自性を磨き、さらなる地位向上を果たすことが重要です。本年はソーラーチームが再び世界に挑戦する年ですが、ライバル校とは違う車の姿は、本学のありたい姿と重なって見えます。

校友の社会での活躍と学園への支援が、本学の地位向上の大きな支えになります。校友の皆様のより一層のお力添えをいただくと幸いです。



学校法人工学院大学 理事長

後藤 治

## 工学教育・ 秩序ある ボーダーレス化

卒業生の皆様には、健やかにご活躍のこととお慶び申し上げます。

狩猟・農耕・工業・情報の各時代に次ぐ第5世代の超スマート社会(Society 5.0)は、モノやサービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供されるとともに、社会システム全体が最適化され、経済発展と社会的課題の解決を両立していける未来社会です。その実現は科学技術イノベーションに負うことは明らかで、工学教育に大きな期待が寄せられています。2018年夏に大学設置基準が改定され、工学教育分野での学部・大学院教育の連結や学科縦割教育の見直し、産業界との協働などの「秩序あるボーダーレス化」が求められています。校友・大学間のコミュニケーションの重要性が高まっています。



工学院大学 学長

佐藤 光史

## 「自己変容型知性」 を磨く

校友会の皆さまにおかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

世界は今、大きく変わろうとしています。日本も例外ではありません。嘗て“Japan as Number One”〈Ezra F. Vogel 著 1979年〉と云われ1980年代には経済成長と日本的経営は高く評価されました。あれから30数年、大量の「知識」や「過去の経験」だけでは、未来に起こる問題は解決できません。2005年にThomas Friedman著「フラット化する世界」がベストセラーとなりました。私たちは第4次産業革命に足を踏み入れ、ICTの驚異的進化の中にいます。更に「限界費用ゼロ社会」がクローズアップされ、社会は変容しています。AIとの共生など未知の領域に柔軟に対応するために、「自己変容型知性」を磨く仕組みを工学院教育の中に確立していく挑戦が既に始まっています。



工学院大学附属中学校・高等学校 校長

平方 邦行

# 平成30年度第6回 全国支部長会報告

支部組織部長 上野 耕平



2018.05.26 全国支部長会集合写真



2019.01 新春の集いにて全国大会をアピール



2019.01 支部組織部会議風景



2019.01 支部組織部員集合



2018.05 新任支部長

## 1. 開催日時

平成30年5月26日(土) 13:00~17:00

## 2. 場所

新宿校舎28F会議室(第1・第2)

## 3. 参加者

全国46支部:出席39名(代理人含む)、  
委任状4名(欠席者分4名)  
理事、監事、支部組織部:24名  
学園(理事長、校友会担当部長):3名  
出席者計66名

4. 議長:上野耕平(支部組織部部長)  
副議長:渡辺征三(支部組織部副部長)  
書記:阿部信夫(支部組織部部員)  
三田一男(支部組織部部員)

## 5. テーマ

学園と校友会の連携強化について

一般社団法人移行後6回目となる「全国支部長会」は、若くして先立たれた澤崎宏副会長と岡崎明男監事兼湘南支部長のご冥福を祈り1分間の黙祷で始まりました。司会者白井精滋氏(支部組織部)の開会の辞に続き田中英生校友会会長からの挨拶の後、司会者より新理事の湯尾慶一氏と新監事の楠昭氏の紹介、支部組織部員の紹介がありました。さらに、新しく支部長となった宮城県支部長荒川捷英氏、秋田県支部長佐々木修氏、宮崎県支部長片地昭次氏、湘南支部長藤田直人氏と新規設立静岡県支部長石神雅昭氏の紹介があり、その後5名の支部長よりご挨拶を頂きました。

次に報告事項①配布資料の確認と説明、②平成29年度各部(本部)活動報告(校友会報vol.139号による)さらに伝達事項として、北海道支部長稲田光男氏より「第18回全国大会北海道大会」の終了報告とお礼、大

分県支部長渡邊光治氏から「第19回全国大会 大分県大会」の概要報告(開催日:2020年11月7日(土)、会場:別府温泉)があり、会議の前半が終了しました。

学園から後藤理事長と阿部校友会担当部長に参加していただき、出席者全員の集合写真撮影が行われ、15分間の休憩の後、会議の後半が開始されました。

会議の後半は、後藤理事長を交え、「学園と校友会の連携強化」についての意見交換を行いました。後藤理事長からは、地方で活躍されている校友の情報を学園に集め、地方で働きたいという学生に地方の優良企業情報を提供し、本学で学んで良かったと学生が満足できる仕組みを構築したいという要望が示されました。各支部長からは学生の起業意欲を推進できる仕組み、工手学校時代から続く歴史や技術の伝承、卒業後の就職先や転居先を追えるようなデータベースの必要性など多くの意見や提案が出されました。

約1時間の「学園と校友会の連携強化」をテーマとした意見交換の後、自由討議を行い、出席された全ての支部長から意見を伺い、定刻17時に第6回全国支部長会を終えました。

# 第6回 定時社員総会 (第62回総会)報告

総務部長 植木 幸裕



総会終了後の集合写真

一般社団法人移行後、6回目となる定時社員総会が2018年5月27日(日)に新宿校舎3階アーバンテックホールで開催されました。議決権者95名(内、委任状24通)の代議員の他、多数の校友が出席される中、10時30分に開会、平成29年度事業報告と決算及び、代議員の任期を2年から4年に変更するなどに伴う定款の改正が満場一致で承認された後、平成30年度事業計画と予算及び、平成29年9月に開催された全国大会・北海道大会実施報告などの報告が行われました。

また、総会の開催に先立ち、平成30年1月に60歳という若さでご逝去された現職の校友会副会長兼広報部長の澤崎宏様や、同年4月にこれまた66歳という若さでご逝去された現職の校友会監事の岡崎明男様など、校友ならびに学園の関係者で昨年度ご逝去された方々のご冥福を祈り、黙祷をささげました。

社員総会は滞りなく午前中で終

了し、その後は、各同窓会に分かれて同窓会報告会兼意見交換会が開催されました。

各同窓会の報告会兼意見交換会が終了した午後2時20分からは、再び3階アーバンテックホールに会場を移して表彰式を開催し、後藤治理事長の来賓挨拶、佐藤光史学長、平方邦行附属中学校・高等学校校長からは学園近況報告をして頂いたのちに、校友会員表彰(勲章・褒章受章者3名への表彰状、退任支部長2名への感謝状)、優秀学生・生徒表彰を行い、ご列席頂いた表彰学生・生徒のご家族共々、喜びを分かち合いました。

午後4時からは中層棟7階の学生食堂に於いて懇親会が賑やかに催され、旧交を温めると共に、先輩と後輩の新たな繋がりが生まれた場ともなりました。

懇親会



総会審議採決



社員総会風景



優秀学生・生徒表彰

## 第7回定時社員総会のご案内

第7回定時社員総会は、2019年5月26日(日)に新宿校舎で開催されます。

- 10:00～ 受付開始  
(3階アーバンテックホール)
- 10:30～ 第7回定時社員総会  
(3階アーバンテックホール)
- 12:30～ 各同窓会報告会兼意見交換会  
(同窓会ごとに別会場)
- 14:20～ 校友会員、優秀学生・生徒表彰式  
(3階アーバンテックホール)
- 16:00～ 懇親会  
(中層棟7階食堂ホール)

◎定時社員総会の議題案は下記の通りです。

1. 次期理事・監事選任の件
2. 2018年度事業報告と決算書承認の件
3. 次期会長・副会長選任報告
4. 2019年度事業計画と予算報告
5. 同窓会会長交代の件
6. 支部長交代の件
7. 生涯メール利用申込の件

◎社員総会・懇親会には全国から代議員や各支部長をはじめとする、多くの会員が集まります。親睦を深めると同時に、会員相互のネットワークを広げるにもお役立てください。

◎全国支部長会が第7回定時社員総会前日の5月25日(土)に予定されています。

科学教室 校友会ふれあいコーナー報告

# 夏の科学教室にて、 校友も頑張っています!!

学園連携部長 長谷川 努



「君はスーパー竹とんぼに勝てるか」(愛知県支部)

## 工学院大学の科学教室とは

この夏の科学教室や出張理科教室は、工学院大学の理科学教育における社会貢献事業の一つであり、ものづくりや実験を地域の子供さんたちに体験してもらうことを通じて理科学の面白さや有用性などを知ってもらう理科教育振興の場となっています。もちろん、この事業の展開は、本学の社会的な知名度や認知度の向上にも寄与しています。併せて、工学院大学は夏の科学教室や出張理科教室を『アクティブラーニングの手法に基づく教育実践プログラム』と位置付け、その企画・運営・実験指導に大学生や大学院生が積極的に支援参画することが出来るシステムを構築した上で開催しています。これらによって得られた教育成果等を公の場で公開することなどにより、「教育面における他の高等教育機関のグッド・プラクティスとなる事例」として文部科学省などの教育監督機関から認定され、表彰されるに至っています。



「飾り炭を創ろう」(西東京支部)



「ルミノール反応を体験しよう」(化学系同窓会)



「高分子を使ってボールをつくろう」(大学設置テーマへの校友会支援参画)

第25回『わくわくサイエンス祭 科学教室』が、大学と附属中学・高等学校のキャンパスの全域を使って、2018年8月25日(土)、26日(日)の両日、盛大に開催されました。演示テーマは84も用意され、猛暑の中、二日間で7,286名の子供達が来場、科学を楽しみました。

## 多くの校友が親子連れで、 あるいは仲間たちで来場!

今回も、多くの校友が来場していました。25回目の開催ですから、校友の皆様の中でも40歳代前半より若い方々の中には、実際に演示テーマの運営者として参画された経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。当日の任意ヒアリング調査では、成人来場者の26%が校友であり、その約1/3以上が伴侶や子供、孫を連れての来場で

した。年々、校友の占める割合が増えています。

## 校友会のアピールのために、 今年も校友会 ふれあいコーナーを設置!

今回も、校友会の存在をアピールするために、Cキューブ1階の学生ラウンジに『校友会ふれあいコーナー』を設置しました。残念ながら、コーナーに立ち寄る校友の数は、昨年と比べて30%程度減じてしまいました。校友の来場者数が増えているにも



校友会ふれあいコーナーへの誘い

気楽に卒業生が来訪(校友会ふれあいコーナー)



かかわらず、なぜ立ち寄る校友が減ってしまったのか、次回までの課題となりました。

## 校友会本部役員や支部、 同窓会による 演示テーマへの参画!

今回は、校友が校友会を介してかわる演示4テーマが展開されました。①愛知県支部の「君はスーパー竹とんぼに勝てるか!」、②西東京支部の「飾り炭を創ろう!」、③化学系同窓会の「ルミノール反応を体験しよう」、④校友会会員が支援者として参画した「高分子を使ってボールをつくろう!」です。この内、来場者アンケートによる人気が発表され、①のスーパー竹とんぼが17位、④の高分子ボールが1位となりました。④については、2019年1月22日に表彰されました。

# 新春の集い2019報告

同窓会組織部長 小澤 和重



2019年1月13日に「新春の集い2019」が開催され、447名もの校友・関係者が新宿キャンパス1階アトリウムに集まりました。

開宴前の時間を利用し集合写真撮影を行なった後、附属高等学校同窓会の内野さん(同窓会組織部)、機械系同窓会の坂口さん、化学系同窓会の川井さんらの華やかな司会進行でスタートしました。

同窓会組織部小澤部長からの開会宣言に続き、校歌・学園歌斉唱ではグリークラブOB会、樹輪の会、アカペラサー



クルΣの皆様がステージから美しい歌声を披露して下さいました。その後、学園関係者紹介、校友会田中会長挨拶の後、工学院大学後藤理事長から祝辞を頂き、鏡開きは工学院大学佐藤学長の御発声で行われ、和やかに歓談に入りました。

歓談の中、2020年11月7日・8日に開催の校友会全国大会大分大会の紹介、本年2月2日に行われる第3回サタデートークの案内が行われ、今回初の試みであるグリークラブOB会、樹輪の会、アカペラサークルΣによる合唱が学生の酒井さんの指揮による1曲も含め3曲披露されました。その後ドローンが来場者を上空から撮影した映像がスクリーンに映し出されると、会場のあちこちから歓声が上がりました。

メインイベントは初出演となる八王子伝統芸能の八王子祭囃子が総勢25

名の「てんた会囃子連」の皆様により賑やかに披露され会場全体が一気に盛り上がりました。子供さんの可愛い踊りもあり、皆さん熱心に鑑賞していました。終演時には会場から大拍手が湧き上がりました。

今年世界大会に参戦する工学院大学ソーラーカーチームからの活動報告も行われました。会場から頑張れという声援が聞こえていました。

恒例の「お楽しみ抽選会」では、今回は4Kテレビ2台、ダイソン掃除機などの豪華景品を用意し会場を盛り上げました。

中締めは鈴木副部長の音頭で江戸一本締めが行われ終演となりました。

終わりにこの集いに参加いただいた学校関係者の皆様、景品や寄付をいただいた校友企業、同窓会、個人の皆様に心よりお礼申し上げます。

# CAMPUS TOPICS

## 学園トピックス

このコーナーでは、学園、大学、附属中学校・高等学校の近況、学生プロジェクトについてご紹介します。

学園関連のトピックとして、科学教室開催、八王子市「平和展」参加、「企業防災賞」受賞、中高大連携、学園新ロゴマーク制定の5件をご紹介します。次に、大学関連のトピックとして、新学科開設、リクルートおよび東洋経済の大学ランキング、チームラボとの連携、「教師会」設立の5件をご紹介します。次に、附属中学校・高等学校関連のトピックとして、図書館Fabスペース開設、スペース&ロボティクスキャンプ実施、NASA元宇宙飛行士特別講演の3件をご紹介します。そして、学生プロジェクト関連のトピックとして、ミツバチプロジェクト、KR P、WA-K.p r o、学生フォーミュラ、ソーラーチームなど10件をご紹介します。

### 学園

#### 地域との連携が多様化①

##### 科学教室

8月25日(土)・26日(日)の2日間、八王子キャンパスで「第25回工学院大学わくわくサイエンス祭科学教室」を開催しました。2日間で約7,300名の方にご来場いただき、大盛況の中無事に終了することができました。2018年度は、25年目となり、近年は、ほぼ毎年メディアに掲載されています。



#### 地域との連携が多様化②

##### 八王子市「平和展」

8月6日(月)、附属中学の3年生が、八王子市「平和展」の平和講演会に登壇し、道徳の授業の一環で制作した映像「PEACE」の上映・発表を行いました。映像は八王子空襲に関する内容で、上映後、制作にあたっての考え、映像には盛り込めなかったシーンや米国での感想を報告しました。質疑の時間には、会場から次々と手が挙がり、休憩時間にも質問されるほどの反響に、生徒たちは充実した表情を見せていました。



#### 地域との連携が多様化③

##### 防災の取組、「企業防災賞」を受賞

本学が参画した「新宿駅周辺地域における巨大地震に対応するための、地域連携によるDroneを活用した取り組み」が、5月31日(木)、BCAOアワード2017の「企業防災賞」を受賞しました。受賞対象となった取り組みは、新宿駅周辺防災対策協議会の有志で結成された「チーム・新宿」が主催した実証実験「ドローンを用いた情報収集及び滞留者誘導実証実験」です。本学は、地域の専門家としてのテクニカルアドバイスや撮影画像手法の開発などを担当しています。

#### 地域との連携が多様化④

##### 商店街と繋がった学園祭、コンテストで4位に

レッツエンジョイ東京が主催する「学園祭グランプリ」は、今年10回目の開催となる首都圏の学園祭No.1を決定するコンテストで、過去最高の120キャンパスが参加しました。本学は、今回の大会で初の総合トップ5入りを果たしました。コンテストでは、高齢化により運営が困難になりつつある西新宿の伝統的な祭「十二社熊野神社例大祭」への実行委員の参加、新宿十二社商店会との連携など、地域の活性化に繋がる取り組みが高く評価されました。また、水族館をテーマにした装飾も大変好評でした。



## 中高大連携がより密接に：中学生、高校生への講義、4名の大学教員が実施

### <小麥先生>

6月13日(水)、工学院大学で銀河天文学や星形成の研究を行う小麥真也准教授(教育推進機構)が中学3年生を対象に「宇宙」をテーマに特別授業を行いました。この授業は、夏にアメリカ・ハンツビルで実施予定のスペースキャンプに向けた事前学習の一環として開催されました。小麥准教授から、宇宙のはじまりからブラックホールまで宇宙全体についてレクチャーがあり、「ビッグバン」「ブラックホール」などの説明が始まると、興味深く聞き入る生徒たちの姿が印象的でした。



### <武沢先生>

6月13日(水)、工学院大学の武沢英樹教授(機械理工学科)が高校1年生を対象に講義を行いました。工学院大学で実際に学ぶことができる研究内容を、身近な例を交えながら紹介されました。また、2019年4月開設の航空理工学専攻についても、パイロットになるための訓練を行いながらしっかりと工学的な知識を身に付けることができるなど、進路を考える上で参考になるお話がありました。メモを取りながら熱心に話を聞く生徒の姿も見られ、有意義な時間となりました。



### <望月先生>

6月20日(水)、工学院大学の望月千尋特任助教(教育推進機構)がハイブリッドサイエンスコースに在籍する高校1年生を対象に化学実験模擬講義を行いました。5・6時間目を利用して行われ、前半は大学の講義室で原子の構造や化学結合、高分子などについての講義を受けました。後半は化学実験室に移動し、高校の理科室とは違った雰囲気の中で実験用白衣に着替え、ゴーグルを身につけ“マイクロカプセル”技術を用いた化学実験などを体験しました。講義を終えた生徒からは「教科書だけの勉強と違って楽しかった」「化学は得意ではないけれど、今日の実験を経験して勉強する意欲がわいた」などの感想が寄せられました。

### <富永先生>

6月27日(水)、工学院大学の富永祥子教授(建築デザイン学科)が高校1年生を対象に特別講義を行いました。富永教授自身が手がけ、国内外で多数の賞を受賞している八王子キャンパス内に建設された弓道場・ボクシング場を例に挙げ、建築物を作る流れなどの説明がなされました。さらに、建築を学ぶ上で大切な能力や構造や設計、都市・建築デザイン、環境、インテリア、安全、福祉など様々な分野で活躍する工学院大学・建築学部が誇る多彩な教員陣についての説明などが行われました。

## ロゴマーク&KUTE-TOKYO制定

2018年度のスタートにあたり、工学院大学のブランドとしての価値をより高め、これらのシンボルをより多くの方々にご愛用いただくために、4月1日(日)、ロゴマークを整備しガイドラインをまとめました。国際的な発信や国際交流が活発化する中で、「工学」(Technology & Engineering)を専攻する教育・研究組織であることを英文名称の中でも示せるように、今後は“Kogakuin University of Technology & Engineering”を使用します。併せて、日本の首都である東京に2つのキャンパ



スを有する大学であることを世界に発信するために、英文名称の略称に“KUTE-TOKYO”を新たに使用することとします。

※ロゴマークご利用の際は、まずは広報課にお知らせください。データをお渡します。サイトや掲載冊子からの転用はお控えください。

## 大学

### 機械理工学科、航空理工学専攻の 2019年度開設を発表

10月20日(土)、新宿キャンパスにて「先進工学部 機械理工学科 航空理工学専攻説明会」を実施しました。本専攻は2019年4月に先進工学部機械理工学科に新設されます。説明会には、受験生とその保護者が約40名集まりました。本専攻では、パイロットに憧れる若者たちが一人でも多くその夢を実現できるよう独自のカリキュラムによりバックアップします。資格の種類や費用、訓練期間など学生の希望に沿う多様な選択肢を用意し、高度な工学を学びながらパイロットの訓練を積む、これまでにない“エンジニア・パイロット®”を養成します。



### 『大学の約束』(リクルート) 大学ランキング施設面7位

リクルートが2018年9月21日に発売した『スタディサプリ 大学の約束2018-2019』『大人たちが見る大学 ブランドランキング2018』において、工学院大学は、以下の3項目で6位・8位にランクインしました。今回の調査は、全国の20～59歳の社会人男女、就業者を対象に、インターネットによるアンケート調査を行った結果です。各項目に関連する設問(小項目)が2～4件あり、そのトータルを各項目の順位としています。

- 研究力が高い大学ランキング8位(「研究に力を入れている」では7位)
- 経営力が高い大学ランキング6位(「学校が発展する可能性がある」では4位)(「改革に熱心である」では8位)(「経営力が高い大学×経営者・役員・管理職」では3位)
- 施設・設備が充実している大学ランキング6位(「研究施設や学習設備が充実している」では4位)(「研究施設や学習設備が充実×20代」では1位)
- コラム『「学生が〇〇」といえばこの大学』:「創造性が高い」で4位



### ISDCプログラムとして、 チームラボと産学連携協定を締結

9月1日(土)、“学生と企業”との“直接的”な“連携”を実現した企業とのコラボプログラム、ISDC(Industry-Student-Direct-collaboration-Program)の参画企業として、本学はチームラボと産学連携協定を締結しました。10月にはオフィス見学会、12月には選考会「工学院大学×チームラボアーキテクツコンペティション」を開催し、学部2年生から修士2年生までの12名が参加しました。最終選考で選ばれた学生は、チームラボアーキテクツの現場で制作プロセスに関わり、その作品の海外でのプレオープンに参加する機会が与えられます。

### 『最新版!「本当に就職に強い大学」 ランキング』(東洋経済) 首都圏理工系大学でトップ

東洋経済ONLINEが2018年7月14日に公表した『最新版!「本当に就職に強い大学」ランキング 卒業1000人以上の大学対象に実就職率で算出』において、工学院大学が首都圏理工系大学のトップ(全体では7位)にランクインしました。

※今回の調査は、卒業生1000人以上の大学を対象に就職希望者以外も含む実就職率で算出され、より実態に即した結果となっています。

### 「工学院大学教師会」設立

卒業生教員から“交流の場を作って欲しい”との声にこたえて、12月8日(土)「工学院大学教師会」が設立されました。設立記念シンポジウム「工学院大学から、教師になる一教職のリアル」が同日新宿キャンパスで開催され、会場には現役の先生方や教師経験のある卒業生が多く駆けつけました。シンポジウムに参加した卒業生からは「現役の学生や他地域の先生と話すことで、色々なヒントを得ることができた」「学生と話すのっていいですね。元気をもらいました」との感想が聞かれました。

## 附属中学校・高等学校



### 設置機器など

- 3Dプリンタ『ダヴィンチJr.』
- コンピュータ(MAC)、貸出用のPC、iPad
- 校内無線LAN
- 6人掛けの大きな長方形のテーブルと円形のテーブル
- 大型モニター ●可動式ボード

### Fabスペースを開設

2018年4月、附属中高図書館のFabスペースが完成しました。

全校生徒(中学生のみ)が使用しているタブレット(iPad)のデータは、AirPlay機能を使ってWi-Fi経由でモニターに出力したり、生徒同士で共有することができ、これまで以上にインタラクティブな学び合いの場として機能しています。

### 中学:スペース&ロボティクスキャンプを初実施

2017年度までは全員でオーストラリアのアデレードを訪問していましたが、ハイブリッド2期生が中学3年生となった2018年度は、アメリカ・アラバマ州ハンツビルで行われるスペース&ロボティクスキャンプを新設、8月4日(土)~19日(日)に開催しました。ハイブリッドインターナショナルクラスの生徒はこのプログラムに参加します。ハイブリッドインターナショナルクラスでは日頃から英語イマージョン授業が行われており、理科や数学も英語で勉強しています。そうした日頃の学びとより直結するプログラムとして、ハンツビルでのスペース&ロボティクスキャンプを実施しました。



### NASA元宇宙飛行士による特別講演

5月28日(月)、アメリカ航空宇宙局(NASA)の元宇宙飛行士であるジョン・マクブライド氏を招き、附属中学生・高校生を対象に特別講演を開催しました。講演では、NASAの宇宙開発の歴史や展望、宇宙の環境や宇宙飛行士になるために必要なこと等、自身の体験談や映像、写真を交えながらお話しくださいました。宇宙飛行士になるには「ベンキョウ! ベンキョウ! ベンキョウ!」と繰り返し表現され、「近い将来、火星に行くことができるようになるだろう。皆さんの中からそうした人が出るかもしれない」とお話しされました。質疑の時間には、多数の生徒たちが舞台上に長い列をつくり、宇宙ゴミの問題や「帰還して地球の重力をどの様に感じたか」など質問。マクブライド氏は一つひとつ丁寧に回答してくださいました。

## 学生プロジェクト

### みつばちプロジェクト

みつばちプロジェクトは、10月に八王子キャンパスで蜂蜜試食会を実施しました。11月には「学生農業未来会議」に参加、12月には、留学生・留学生サポーターによる交流会「Honey Cooking Party」（留学生交流会）を初開催するなど、活発に活動しています。卒業式や2019年度入学式で「蜂蜜入り入浴剤」を配布するなど、活動の幅を広げ始めています。



### 学生フォーミュラ

工学院大学レーシングチーム(学生フォーミュラ)は、7月にHonda「マイスタークラブ」に技術指導をお願いする



など、積極的に取り組んでいます。9月には第16回全日本学生フォーミュラ大会に出場、12月に日産自動車主催「全日本学生フォーミュラ大会 日産サポート講座」にも参加しました。

### KogCoder

KogCoderは、「ISTSCトラブルシューティングコンテスト2018」など多数のコンテストに出場しました。また、2019年2月にパーソルプロセス&テクノロジー株式会社と共同で講演会を開催するなど、意欲的に活動の幅を広げています。



### WA-K.pro (K×Kプロジェクト含む)

「WA-K.pro」は、5月開催の『あるきlecture in 表参道』から2018年度をスタートさせました。10月には、八王子祭でインスタレーション<sup>\*</sup>を初めて実施する一方、八王子フードフェスティバル会場デザインを担当し、11月には即日設計を実施するなど、学外での活動や手法も広がっています。派生プロジェクトである「K×Kプロジェクト」は、キャンパス内の老朽化した「体育授業用倉庫」を木造建築に建て替えました。6月に設計が完了し、8月に上棟、11月に竣工しました。着実に実績を築いています。

<sup>\*</sup>インスタレーション：現代美術における表現方法のひとつ。展示空間そのものを含めて作品とみなす。

### KRP

ロボットプロジェクト(KRP)は、9月に「F<sup>3</sup>RC 2018大会」に出場しました。2019年2月には「NHKロボコン2019」の第1次ビデオ審査を通過し、2019年度の活躍が期待されます。



### エコランプロジェクト

エコランプロジェクトは11月には「2018 NATS EV 競技会」へ出場、12月には「Energy Challenge Okinawa 2018」に出場するなど、2018年も精力的に活動しました。電気自動車を設計から製作まで自分たちで行うことで、ものづくりへの理解を深めています。





# 特集 校 友会

## 社会人になっても絵が続けられた訳

今回は、学生時代の部活動（美術部）から長年にわたってアマチュアとして創作を続けられ、日本の三大美術団体の一つである二科会の会員になられた校友を紹介します。高松良幸氏（1973年建築学科卒）は、2018年第103回二科美術展覧会絵画部にて会員賞（作品名『深層の記憶・街』）を受賞されました。1986年第71回二科展で初入選以来、連続入選され、1998年に会友推挙、2014年に会員推挙。現在は二科会会員の他、日本美術家連盟会員、広島市文化協会理事（美術部会長）も務められております。

### 第103回 二科展 懇親会



昨年、第103回二科展で会員賞を頂きました。

振り返ってみてなぜ美術の専門学校を出ていない自分が二科会の会員になれ、又会員賞を頂けるようになったか不思議でなりません。

結果はともかく、絵が続けられた遠因は学生時代の体験にあったように思います。

一つは大学時代、学内の文化祭で美術意匠部の絵画展でお祭り騒ぎをした経験、もう一つは卒業制作が、後輩の協力もあり、辛うじて優秀作品集の隅に掲載して頂いた体験があったと思います。

#### ■二科展との出会い

30歳半ば趣味程度では絵を続けていけないような気がして、転勤先の広島で、馴染みの画材店から二科会の先生を紹介して頂いたのが画壇の世界を知るきっかけです。それ迄公募展に出

品することがどういうことか、絵を描き続けるということがどういうことか、全く分かっていませんでした。

当時地方都市広島では二科への出品者が50人程いて、日常的に絵を描き続ける人達との交流が始まりました。

#### ■アマチュアであり続けた

もともと絵を続けることが目的であったので、家庭と趣味との両立を条件に公募展への挑戦を始めました。絵の世界で生計を立てようとか結果を残そうとか考えていませんので、二科展に入選するだけでも喜びです。毎年どんな絵を出品しようかと悩むのが楽しくて仕方がありません。まさしくアマチュアそのものです。

#### ■世界が変わった

二科展は戦前から続く国内有数の美術団体で入選するだけでも大変なことで、当初は受賞なんて想像すら出来ませんでした。毎年続けるには時間や経

専門の垣根を越える校友達  
くえっ！ あなたも工学院？



## 高松 良幸

### ■プロフィール

- 1986 第71回二科展初入選 以降連続入選
- 1988 第19回広島勤労者美術展
- 1998 第83回二科展 会友推挙
- 1999 第83回二科展出品作「街の風景」が「'99美術ひろしま」に掲載
- 2007 第89回二科展出品作「街の形」が「'04、'05美術ひろしま」に掲載
- 2013 第3回青木繁記念大賞西日本美術展 入選
- 2014 第99回二科展 会員推挙
- 2014 第3回青木繁記念大賞西日本美術展入選作「遠い記憶」が「美術ひろしま2013-14」に掲載
- 2018 第6回新広島県美展 招待展示

### ■受賞歴

- 1986 第31回二科展広島展 新人賞
- 1988 第19回広島勤労者美術展 奨励賞
- 1992 第36回二科展広島展 広島国際文化財団賞
- 1996 第40回広島二科展 広島県知事賞
- 1996 第81回二科展 特選
- 2005 第90回二科展 会友賞
- 2018 第103回二科展 会員賞

### ■個展等

- 2003 個展(ギャラリーブラック/広島)
- 2006 個展(ギャラリーブラック/広島)
- 2007 個展(ネッツギャラリーBOX/広島)
- 2008 個展(ギャラリーブラック/広島)
- 2010 個展(ギャラリーブラック/広島)
- 2013 個展(八千代の丘美術館/安芸高田市) (第12期 招待展示)
- 2015 個展(ギャラリーブラック/広島)
- 2017 個展(ギャラリーブラック/広島)

### 現在

- 公益社団法人二科会 会員
- 一般社団法人日本美術家連盟 会員
- 広島市文化協会理事 美術部会長
- アトリエブラック教室 講師
- 広島市佐伯市五日市中央 在住
- (ひろしまインターネット美術館掲載中)



済的なことより、気持ちの持ち様が大事でした。「描く」こと以外に結果を求めていたら恐らく気持ちが萎えていたかもしれません。続けられた結果、2014年、会員推挙になりました。今までの応募する側から審査する側になり、絵に対する見識を問われる立場になったということです。一生アマチュアのもりが大変なプレッシャーを感じています。

公募展に出すことで画壇の世界を知

ることが出来、会員になったことで多少絵の世界を考えなくてはならなくなりました。

毎年、二科展というお祭り騒ぎを続いています。それはまさしく大学時の文化祭「お祭り」と、卒業制作「挑戦」と同じことを続けていることになりました。

### ■私の絵「街の記憶」について

毎年色んなモチーフを描いていますが、描いている絵に共通しているのは

街の風景。自然の風景ではなく、人が関わった風景に惹かれて描いています。具体的な写生も描きますが、懐かしい記憶の中のイメージを絵にしています。

今回受賞した作品『深層の記憶・街』は、建設現場の解体現場を絵にしました。再生する未来と解体された街の記憶を懐かしむ自身も重ねています。

# 機械系同窓会活動紹介

～物作りなくして飛躍無し～

## 会長挨拶



機械系同窓会  
会長 **田中 英生**

機械系同窓会会長の田中です。

平成31年度がスタートしますが、昨年1年は機械系同窓会イベントとして「活躍するOBの報告会」と「秋の集い」に加えまして「機機械会」（キキカイイと読みます）の三本の柱がすっかり定着した年とって良いと思います。これらは校友の皆さんと先生と学生の皆さんと交流懇親を図るもので、大変好評裏に推移しております。最近卒業直後の若い学生さんの参加が少しずつ増え始め、広い年齢層を網羅する人の分布は人材の連続性という意味で大変歓迎すべきものであります。また、イベントなどで「卒業後に初めて学校のイベントに来ました」という年配の方にお会いするとうれしくなりますが、今年はこういった方々のリピートを促す事にも力を入れます。この勢いを途切れさせることのないように今年も頑張ってください。



半澤さん講演写真



参加者の集合写真

平成30年度機械系同窓会 報告会兼意見交換会が2018年5月27日(日)新宿校舎にて田中英生(65年卒)機械系同窓会会長の挨拶より開会され、報告事項に関して参加会員の承認・賛同を得て本会を閉会しました。

## 第13回(7月14日・新宿校舎) 「活躍するOBの報告会」

演題：人の身体を見つめつけて  
(副題：整体師になってみて分かった「健康」)  
講師：半澤淳一  
腰痛館もえ厚木整体院長(65年卒)

どの様にすれば良好な健康体を保てるかを、長年の整体師としての視点から講演されました。

半澤氏は17歳の時に跳び箱で失敗してひどい腰痛となり体力的な劣等感に悩まされ、少林寺拳法を27歳から60歳まで修行し、その中で中国伝統の経絡医療を習得しました。就職先の会社で治療を実践し評判になり、さらに中国の天津医科大学で修養を積み奥義を極めました。

基本的な考え方は西洋医学の対症療法よりも原因を発見して根本治療を施す東洋医学法に基づき、通常生活する方には、食事(粗食：腹六分、飢餓状態をつくるのが大事)、睡眠(7時間：



懇親会場での関谷さんモデルの整体実践写真

朝日で体内時計をリセットすること)、運動(うっすらと汗をかく程度のウォーキング30分位を週3回)がガン等の予防になります。

医院では腰痛等の場合は、歪みを矯正・体質改善し健康維持(夢を持たせる)を実践して治療を完成させ、多くの患者が治癒しています。

## 第5回(8月24日・新宿校舎) 機機械会(キキカイイ)

演題：衛星システム設計の概要及び  
航空宇宙分野での複合材料の  
応用による軽量化  
講師：機械工学科  
何建梅(カケンバイ)教授

1988年北京大学の力学系・固体力学専門(理学)を卒業、1998年に早



何先生講演



何先生との懇談

稲田大学・大学院理工学研究科・機械工学専攻で博士号(工学)を得られました。その後、米国Stanford大学等で研究生活を送り、日本に戻り宇宙開発事業団及び宇宙航空研究開発機構の主任研究員を勤め、2006年に本学工学部・機械工学科の准教授として就任、2016年に教授となりました。

講演では、日本で打ち上げられた人工衛星の運用中に発生した太陽電池パドルの軌道上不具合に対する構造的健全性評価等検証を行っていた事や宇宙で太陽光を収集してエネルギーに変換して地球に送る「宇宙太陽光利用システム」のコンセプトにおいて、カイコが繭を、クモが巣を造る様な生物の動きを利用する工頭脳成形機の検討等の複合材の応用に関する技術テーマが紹介されました。

講演終了後、談話室のテーブルを囲んで先生・学生と参加校友が、将来の夢を語りながらフリートークで和やかに懇談し、自由闊達な意見・質問で盛り上がりました。

### 秋の集い2018 (10月20日・新宿校舎)

演題：生物に学ぶ表面の微細構造と機能  
講師：鈴木 健司 教授

鈴木健司先生は三浦宏文先生の研究を継承され、通常のロボットから昆虫の多様な機能に興味を持たれ小型のロ



懇親会

ボットを研究されました。昆虫に目を向けたのは小さいからこそ出来る機能に着目された事です。そして昆虫に学びそれをロボットで再現することです。

昆虫の有する微細構造はアメンボが船のように浮くことは、足先の繊毛による表面張力によること、蟻や蠅では足先から出る粘液の吸着力によって平滑な壁面をよじ登ることを可能にしています。

蛾の目玉の微細構造は光学的な面では無反射フィルムの製造に応用される等、昆虫や小動物の微細表面に学ぶ所が多々あります。

小さくした場合は環境的な外乱要因に左右されやすく、ロボットの場合はエネルギー源に限界(可動寿命に影響)があり極める所が多い研究分野となっています。

### 第6回(12月12日・新宿校舎) 機機械会

演題：噴流技術と流体機械の未来  
講師：佐藤 光太郎 教授

佐藤先生は宇宙開発のJAXAがエンジンを開発している角田市の生まれで、この地は日本より外国の航空宇宙分野の方によく知られています。小さい頃は数学が嫌いでしたが、あるとき時刻表に興味を持ちそれから鉄道ファンと



佐藤先生との懇談



佐藤先生講演

なり「乗り物が好きなら数学だ」、ということで高校から好きになり今に至っているとの事です。

航空機の離着陸時に補助翼(フラップ)を用いて揚力を大きくするが、水平飛行時には必要なく、出来るだけ軽くて小さい方が良い。CCWでは翼後縁からシート状のジェットを噴き出すことでフラップと同様な機能を持たせており、将来の全翼機等に対して有効な手段となります。現在はヘリコプターのテイルローターに代わりジェットを使い、メインローターとの干渉音であるパタパタ音を無くしたNOTARが実用化されています。また空気抵抗の大きい垂直尾翼に対しても噴流の方向制御を行えば極限まで小さくでき、燃費向上が期待できるなど、ジェットによる翼の空力特性制御の研究に取り組んでいます。

他方、超小型スピーカーなどの振動により生成されるシンセティックジェットを利用すれば推力が得られ、姿勢制御も可能になります。この技術は医療用の自走式カプセル内視鏡等へ応用を目指しています。

その他、流体機械関係でパソコンの冷却用軸流ファンの性能特性に及ぼす障害物の影響等々大変興味の湧くお話し勢いで、テーブルを囲みフリートークの懇親会に続き大変盛り上がり、最後に先生の一言「暇な時間に何をするかで人間の本质が決まる」で閉まりました。

# 化学系同窓会活動紹介

## 会長挨拶



化学系同窓会  
会長 古川 和弥

化学系同窓会長の古川和弥(2008年応用化学科卒、2010年化学応用学修士卒)です。本年より新しく会長となりました若輩者ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。

工学院大学の化学系学科名は、昭和24(1949)年に新制大学として再スタートした時の「工業化学科」から、現在は「生命化学科」、「応用化学科」、「環境化学科」の三学科に変わっております。

同窓会名も、化学系全ての学科が対象となりますので、「応化会」から「化学系同窓会」と名称が変更されました。

現在、化学系同窓会員は1万人を超えています。今年も3月20日に新宿で学位記授与式が挙行され、新たな仲間が増えました。

さて、20~30代の若い世代、40~50代で社会で頑張っている世代、若者にも負けない60代越え世代の全ての卒業生の皆様に宣伝です。

化学系同窓会は、新宿キャンパスにて「化学の夕べ」という企画を開催しております。「化学」と付いておりますが、どの同窓会の方でも歓迎しております。是非一度は覗いてみて下さい。

私たちは、学生・教員・OBOGとコラボして、面白いこと、お互いにWin-Winになることを目指し、より一層活動範囲を広げていきたいと思っております。

どうか、皆様の御支援、御鞭撻を賜りたく、今後ともよろしくお願い申し上げます。



化学系同窓会では、「化学の夕べ」の開催、「科学教室」への参加、「スポーツ大会」への支援を行っております。以下に、それら化学系同窓会の活動内容を御紹介します。

## 化学の夕べ

昨年(平成30年)は、8月を除く4月から12月までの計8回、第二土曜日の午後5時半から約2時間、新宿キャンパスで「化学の夕べ」を開催しました。

第1回目から第8回目までの各回の開催日、講演者、演題は右の通りです。

この催し「化学の夕べ」は、化学系同窓会が応化会と称していた頃から、毎月第二土曜日に開催していて、今迄に講演して頂いた演者は、教員の先生方、大学院生、研究室所属の学生、学生プロジェクト、同窓会員など様々です。

昨年は、本学の8名の先生方に、研究室の紹介と研究内容の一端を解説してもらいました。

「化学の夕べ」の前半1時間は、パワー

### 第1回:4月14日

学長 応用物理学科 佐藤光史教授  
「校友のための工学院大スタディーズ」

### 第2回:5月12日

環境化学科 関志朗准教授  
「電気環境化学研究室」

### 第3回:6月9日

環境化学科 高羽洋充教授  
「環境計算化学工学研究室の紹介と計算化学的研究の動向について」

### 第4回:7月14日

生命化学科 坂口政吉准教授  
「糖質加水分解酵素の取得と機能解析」

### 第5回:9月8日

環境化学科 赤松憲樹准教授  
「膜およびマイクロ流体デバイスを用いた乳化学技術の研究開発と機能性微粒子調製への展開」

### 第6回:10月13日

応用化学科 飯田肇講師  
「触媒化学研究室での最近の試み」

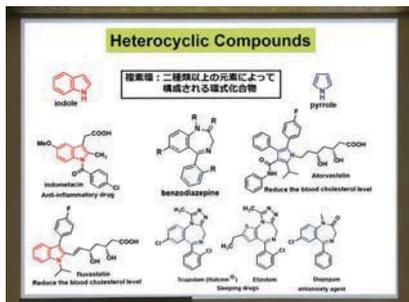
### 第7回:11月10日

生命化学科 安井英子准教授  
「生理活性化合物の創製を指向した環化体の合成研究」

### 第8回:12月8日

応用化学科 杉山健二郎講師  
「植物や藻類を利用して生活を豊かにする」

ポイントなどを使った講演を皆で拝聴し、後半1時間はビールを飲みながら質疑応答と懇談を行います。また、年に一度は、新宿キャンパスを離れ、八



王子キャンパスで開催しています。昨年は、11月の安井先生の御講演を八王子キャンパスで開催しました。

「化学の夕べ」では、教員の先生方、学生諸君、そして同窓会員が集まって、本学での技術研究の最新情報、研究室の近況報告、あるいは学生諸君の研究発表の場として、和気あいあいと親睦と懇親が出来ると同時に、老いも若きも、世代を超えた同窓会員同士の交流を図り、時には仕事上の悩みを相談したり、本学出身者同士の仲間意識を醸し出せる場として、同窓会員の皆様に活用してもらう事を念頭に置いております。

大勢の校友の皆様が集まってもらえる様に、これからも工夫を凝らした「化学の夕べ」を開催していきたいと考えております。



## 科学教室

八王子キャンパスで「わくわくサイエンス祭科学教室」に、化学系同窓会として参加しています。

過去3年間の演示テーマは「キミは名探偵!〜ルミノール反応を体験しよう!〜」です。

昨年の「科学教室」は、8月25日(土)、8月26日(日)の二日間開催されました。

同窓会が科学教室に参加する目的には、

- 若い同窓会会員の輪を広げる
- 同窓会員が学生諸君と接触することで学生諸君にも同窓会を理解してもらう

**実験方法**

一気に強く入れると、液がハネてしまうこともあるよ!

1. 三本の試験管に三種類のサンプルをそれぞれで約2mlずつとる
2. ルミノール液をそれぞれで約2mlずつ滴下(入れる)
3. それぞれの発光の色、強さ、長さ...などなどサンプルごとの発光の特徴を観察してみよう

があります。

学生時代に「科学教室」を経験した卒業生が、卒業後、再び、八王子キャンパスに戻ってきて、現役の学生諸君と一緒に、新たな「科学教室」を作り上げる楽しみを味わってもらえれば、卒業生(同窓会員)と学生諸君との繋がりが強くなってきます。

卒業生と学生諸君とのチームワークで、本学ナンバーワンの「科学教室」を目指して、次年度も頑張ってもらいたいと願っております。

## スポーツ大会

毎年、八王子キャンパスで開催される、学科別スポーツ大会への支援を行っております。

スポーツ大会に同窓会員も参加したいのですが、現状は、年寄りの冷や水になりかねませんので、専ら表彰式で優勝したチームへの祝辞と参加した学生諸君へ化学系同窓会の紹介をするに留まっております。将来的には、同窓会員チームがスポーツ大会に参加出来る程、若い同窓会員を増やす様にしたいですね。

# 電気系同窓会活動紹介

～電気系同窓会と準会員つなぐ取組み(資格取得報奨制度)～



会長挨拶



電気系同窓会  
会長 **小澤 和重**

電気系同窓会は電気システム工学科、情報通信工学科、コンピュータ科学科、情報デザイン学科、システム数理学科、応用物理学科の同窓生で構成され、同窓生数は2018年1月末現在約14,400名で、各分野で活躍しています。毎年、学部約450名、大学院約30名の卒業生が同窓生として社会に出ています。主な活動は、各分野で活躍している同窓生の紹介や学園の近況などを伝える同窓会誌「隆星」の発行、学生支援活動として資格取得支援(資格取得報奨制度:今回実績を含め再紹介)やインターンシップ報告表彰(4年間で20名表彰)を実施しています。今後も同窓生と未来の同窓生である学生のための活動を企画継続していきます。電気系同窓会は同窓会活動に関心のある方を募集しております。連絡先:校友会事務局

校友会は、会員相互の親睦と連携ならびに学園の発展を願って支援を行うことを目的とした団体です。その下部組織である電気系同窓会では、若い卒業生の連携をさらに強化するため、在学生への様々な支援を行っております。既に校友会では、優秀学生の表彰、優秀活動の顕彰をはじめとする多くの援助を行っておりますので、電気系同窓会ではこれらと異なる視点で「資格取得報奨制度」、「インターンシップ発表会表彰制度」を行っております。

今回はこれらの支援活動のうち「資格取得報奨制度」をご紹介します。

## 資格取得報奨制度

資格取得報奨制度は、2015年度から開始し、情報学部(情報通信工学科・



コンピュータ科学科・情報デザイン学科・システム数理学科)、工学部電気系(電気システム工学科)、先進工学部(応用物理学科)の学生が在学中に電気系同窓会で認定した資格試験に合格した場合にその受験料を報奨金として授与する制度、また技能試験が設定されている場合は技能講習を開講し支援する制度です。今年3月までの表彰実績は電気系・情報系の資格取得者数140名になりました。資格別実績は右ページの表の通りです。

報奨金の授与式は、毎月行われる役員会の前に行っています。(表彰風景

資格名称	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	小計
第一級陸上無線技術士	1		1		2
第二種電気主任技術者	1				1
第三種電気主任技術者		4	2		6
エネルギー管理士	1				1
第二種電気工事士	9	5	5	5	24
情報セキュリティスペシャリスト試験	1	1			2
情報セキュリティマネジメント試験				2	2
応用情報技術者試験	2	3	3	5	13
基本情報技術者試験	16	35	14	24	89
合計	31	48	25	36	140



### 対象資格一覧

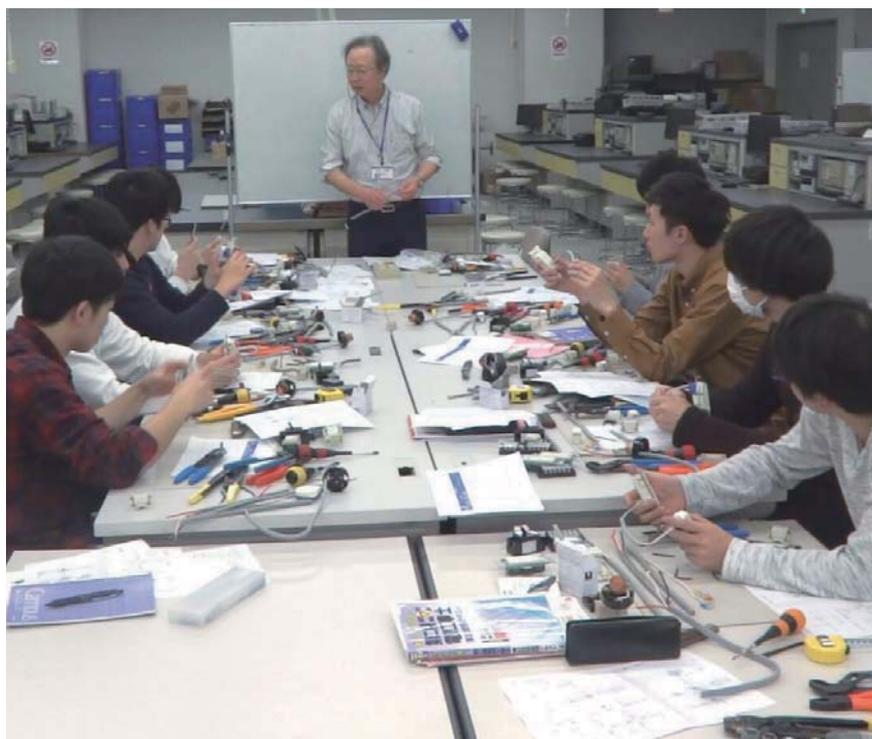
- 第一種電気主任技術者・第二種電気主任技術者・第三種電気主任技術者
- 第一種電気工事士・第二種電気工事士・エネルギー管理士
- 第一級陸上特殊無線技士・第一級陸上無線技術士・基本情報技術者試験
- 情報セキュリティマネジメント試験・応用情報技術者試験
- ITストラテジスト試験・システムアーキテクト試験
- プロジェクトマネージャ試験・ネットワークスペシャリスト試験
- データベーススペシャリスト試験・エンベデッドシステムスペシャリスト試験
- 情報セキュリティスペシャリスト試験・ITサービスマネージャ試験
- システム監査技術者試験

以上



写真参照) 役員会の前に行うのは電気系同窓会からの支援ということを確認してもらおうとともに、なるべく早く報奨金を授与し次の資格試験へチャレンジしてもらおうことも考慮しました。

一方、これらの資格試験の中には、電気工事士試験のように、学科試験と技能試験を課しているものがあります。学生が技能試験の練習をする場合、工具と部品を購入し個人で練習するか、外部で有料の講習を受講することになります。幸いにも本学の卒業生にはこ



の分野のエキスパートがいらっしやり、快く講師を引き受けていただきました。講習は年2回、それぞれ2日間を使い電線の剥離から、各種電気器具の取扱いまでを行います。現在までに40名が受講しています。(技能講習写真参照)

産業界では多くの会社が社員のテク

ニカルスキル向上のため資格取得を奨励しています。資格保有社員が多い会社ほど受注力や競争力に強みを発揮しています。この制度により、多くの学生が資格取得へチャレンジし、何かしらの資格を持って卒業し、就職など自身の将来に役立てて下さることを願っております。

# 建築系同窓会活動紹介

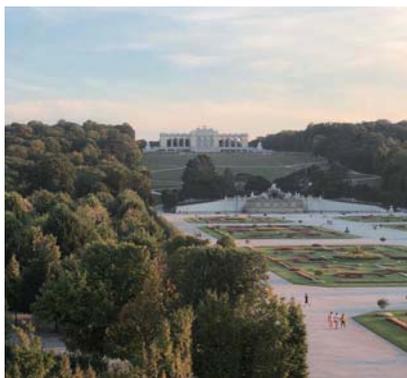
～「NICHE出版会」と「建築を保存する会」の2つの活動について～

会長挨拶



建築系同窓会  
会長 鈴木 敏彦

私たち建築系同窓会の使命は工学院大学を通じて同窓の皆様と社会をつなげ、情報共有のお手伝いをすることです。具体的には「NICHE出版会」による同窓会誌『NICHE』の出版と「建築を保存する会」による白樺湖夏の家動態保存の2つの活動を実施しています。『NICHE』については、同窓の活躍や大学の情報を中心にお伝えする「ダイジェスト版NICHE」と大学の知的資源やネットワークを生かして社会に貢献することを目的とした全国発売の「書籍NICHE」の2冊体制となって6年が経ち、徐々に知名度も高まっています。「建築を保存する会」では、フィンランドの建築の発想を継承した長野県茅野市の「白樺湖 夏の家」を保存しながら、北欧の建築に関する研究会を開催しており、その成果が建築賞の受賞として実りつつあります。今後も同窓の皆様が誇れる同窓会を目指してまいります。



ハプスブルク家のシェーンブルン城館

## 書籍『NICHE06』出版について

NICHE出版会では2014年から「大学の知的資源やネットワークを生かして社会に貢献する」という理念を掲げ、大学関係に配布する同窓誌と、広く一般に流通させる書籍の2本立ての出版広報活動を行っています。前者では同窓生の仕事ぶりや、海外渡航奨励金制度を用いて海外を巡った在学生のレポートを載せ、後者では毎回異なる国をテーマに掲げ、海外の建築探訪を通じてその国の建築と歴史を掘り下げる特集を組んできました。本年度はオーストリアのウィーンを皮切りにプラハとブダペシュトの建築とデザインを取材しました。ウィーンは1887年に本学を創設した渡邊洪基が1890年(明治23年)、駐オーストリア特命全権大使として赴任した地です。2019年初夏出版の『NICHE06』では、「プラハ、ウィーン、ブダペシュト建築探訪」をテーマに特集します。ここにかいつまんでご紹介します。

### 特集1 オーストリア=ハンガリー 君主国の三都

観光地として名高いウィーンには日本から直行便が飛んでいます。シェーンブルン宮殿や分離派の建築、旧市街地としてのリンクシュトラセ内の地区を訪ねる人は多くても、隣国チェコのプラハ、ハンガリーのブダペシュトまで足を伸ばすと、途端に数が減るのではないのでしょうか。ドイツ語圏であるオーストリアに対し、チェコ語とハンガリー語を用いる両国には、乗り換え便での不便さとも相まって心理的な距離が生まれます。だからこそ、ウィーンを訪ねた折りにぜひ周辺にまで足を運んで欲しいと思います。近世から近代にかけてハプスブルク家の傘下にあった君主国の三都の歴史的経緯を中島智章先生に解説して頂きました。



キュビズム建築、ブラックマドンナ

### 特集2 プラハ

プラハは20世紀に入ると、キュビズムによる新しい建築がゴチャール、ヤナーク、ホホルといった建築家によって試みられ、チェコで独自の進化を遂げた家具や建築が作られました。ユニークな建築とプロダクトの見どころを建築マップとともに紹介します。また、アドルフ・ロース設計のミュラー邸の改修を担当したプラハ工科大学のヴァーツラフ・ギルサさんから改修計画のレポートをご寄稿いただきました。ロースのデザインの知られざる嗜好をお届けします。また、戦後日本のモダニズムを築いたアントニン・レーモンドの生誕の地であるクラドノを取材しました。2018年度のアントニン・レーモンド賞を取材したプラハ工科大学のドミニカ・コヴァンドヴァさんに日本とチェコの建築をレポートして頂きました。

### 特集3 ウィーン

ウィーンの都市を歩くと、オットー・ワグナーやヨーゼフ・ホフマンら



オットー・ワグナーの郵便貯金局

ウィーン分離派の建築群が目に入ります。折しも19世紀末のウィーンは、ユーゲントシュティールの優雅な装飾で彩られていました。一方、装飾の排除を唱えたアドルフ・ロースは機能主義への一歩を踏み出しました。2度ウィーンの暮らしを味わった渡邊洪基先生は何を見たのでしょうか。国際日本文化研究センターの瀧井一博先生に、渡邊先生の生涯とウィーン時代の活動についてご寄稿して頂きました。帰国後に、渡邊先生と奥様が鹿鳴館で華麗なダンスを披露したのは、ウィーン赴任時代に培った社交術によるものだとされています。

#### 特集4 ブダペシュト

観光地として人気を誇るウィーンやプラハに比べて、少し落ち着いた感のあるブダペシュト取材しました。世紀末のハンガリーに花開いた知られざるアール・ヌーヴォー建築はレヒネル・ウドゥン（1845-1914）の設計です。



レヒネル・ウドゥンの郵便貯金局

国立地質学研究所や郵便貯金局に見られるロマンティックな装飾は時代のあだ花として一世を風靡したあと、その後の機能主義の到来で顧みられることはありませんでした。ウッドゥン研究の第一人者であるミハイ・ルドマン氏に解説を書き下ろして頂きました。

#### 連載 工手学校研究 「近代建築を支えた建築家の系譜」

工手学校の卒業生のパイオニアとしての活動を台湾と日本で探っています。国立台北大学歴史学系教授の蔡龍保先生が「土井豊吉の台湾における活動」について、そして「輝かしき先輩たち」として20回目の連載を続けている類州環氏には「工手学校卒業生で、唯一、近代建築史に名を刻む松本與作」の記事をご寄稿いただきました。

#### 建築を保存する会について

##### NICHE2019 白樺湖 夏の家

数年前に、武藤章先生が眠る墓地へ墓参りに出かけました。『建築を保存する本』（Opa Press、編著NICHE）の出版にあたり、工学院大学建築学部同窓会としての活動を報告するためです。今年度はさらに報告すべきことがありました。

「工学院大学旧白樺湖学寮 白樺湖 夏の家」では、外構計画に沿って白樺を植樹し、「北欧建築デザインの集い」「JIA長野県クラブ夏のセミナー」「5大学合同合宿ゼミ」等で活用しています。未来につながる社会貢献を行った建築士を表彰する建物として、2018年6月に「第4回これからの建築士賞」（東京建築士会）を受賞しました。また、完成から25年以上良好な状態で維持管理されている建築物として、2018年12月に第18回「JIA25年賞」（日本建築家協会）を受賞しました。これは、会の活動が社会的に認められたと受け取れる出来事でした。武藤章先生が十代田昭二先生（構造）、中島康孝先生（設備）、南迫哲也先生らと共に設計した学寮を、建築系同窓会が減築して原型に戻し、「白樺湖 夏の家」として動態保存を始めた時には、よもやこういった賞に結びつくとは思いませんでしたが、これも一重に会の活動を支援し、支持



白樺植樹



植樹後



アアルト展 手前が「白樺湖学寮」、奥が「八王子図書館」

して下さる皆様の賜物と受け止めています。今日、建築では竣工と同様に保存と維持の重要性が増しています。これらの受賞を機に、多様化する社会の中で、建築の保存と維持と継承の意味を再考していきたいと思っています。

2019年3月4日から3月17日まで、「アルヴァ・アアルト生誕120周年記念国際シンポジウム&展覧会－内省する空間－アアルトの図書館と住宅」が日本建築学会建築博物館ギャラリーにて開催されました。ここでは工学院大学白樺湖学寮（1968）と工学院大学八王子図書館（1979-2015）の1/50スケールのバルサ模型を展示しました。鉛色にエージングした白樺湖学寮の模型は50年前に武藤研究室で作成したもので、その横に並べた今は無き八王子図書館の模型は展覧会に合わせて鈴木研究室が作成したものです。工学院大学では武藤先生が伝えてくれた北欧スピリットと建築に対する思いを今後とも熟考していきたいと思っています。

# 高校同窓会活動紹介

～在校生たちの笑顔が見たい!～

## 会長挨拶



附属高等学校同窓会  
会長 **若林 勝司**

同窓会員の皆様には、日ごろからご支援・ご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。

高校同窓会の主な活動は、校友会組織の一員としての活動があります。高校同窓会をはじめとして、機械系、化学系、電気系、建築系、専門学校同窓会の6同窓会で組織されています。役員は、他同窓会と協力をして学園全体の活性化と学園連携に力を注いでいます。高校同窓会は、「新春の集い」の共催、ホームカミングパーティー八王子、文化祭「夢工祭」での「おもいでCafé」の出店、クラブ活動助成金、高校同窓会会報「夢広場」の発行。優秀クラブ賞の表彰、卒業記念品贈呈などを主な活動としています。

会員の皆さん、ご父母、教職員の皆様におかれましては、各々の連携を保ち学生、生徒のために、なお一層のお力添えをお願い申し上げます。会長挨拶とさせていただきます。



昨年度、高校同窓会は次のような事業計画に基づき、活動を行いました。

1. 生徒奨励（卒業記念品の贈呈、優秀な生徒の表彰と副賞の贈呈）
2. 学園への援助
3. 生徒の諸活動への助成（クラブ活動、生徒会活動、海外留学）
4. OB・OG会への支援
5. 広報ツールの充実（会報の発行、SNSによる情報発信、ホームページのリニューアル）
6. クラス委員制度の拡充
7. 懇親会（八王子）企画の拡充
8. おもいでCafé企画の拡充
9. 同窓会意見交換会の開催
10. ホームカミングデーへの協力、参加
11. 校友会活動への協力、参加

以上の中から事業予算を組んでいる活動について、いくつかをご報告いたします。

### ◆生徒奨励

これは長年継続している事業で、卒業式で卒業生に高級皮革製の「パスケース」（本会の名入り）を贈呈いたしました。また、「同窓会クラブ賞」

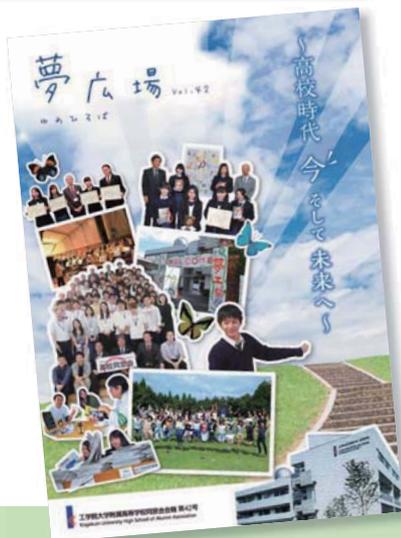


として高校の部活動へ図書カードを贈呈いたしました。

### ◆学園への援助、生徒の諸活動への助成

例年、高校からの援助要請に基づき、クラブ活動や郊外活動への援助・助成を行っています。今年は柔道部の大会遠征費用、野球部の選抜大会へ吹奏楽部やチアリーダーが応援に駆け付けるための費用を助成いたしました。

なお、昨年9月に行われた夢工祭（高校の文化祭）での企画「おもいでCafé」の収益金は高校生徒会へ寄付いたしました。





### ◆OB・OG会への支援

今年1月の校友会「新春の集い」において、本会OB・西志村さん（1975年卒）が所属する囃子連「てんた會」が縁起の良い獅子舞やかわいい“おかめ”の舞を披露いたしました。閉会后、同期の皆さんがファカルティクラブに集い、同期会が盛大に行われました。本会からは事務所経費を助成していません。

なお、本年「新春の集い」の総司会会は、西志村さんと同期の本会副会長・内野さんが絶妙な進行で務めました。

### ◆会報の発行（広報ツールの充実）

昨年4月に会報「夢広場」42号（本誌A4判カラー16ページ）を発刊いたしました。今号ではクルマ好きなOBの寄稿文や卒業したばかりのOB・OGの近況報告、「おもいでCafé」の紹介文を掲載。特集記事は工学院大学へ進学したOB・OG4名によるの座談会、社会科・松山先生のご指導により東京新聞主催「新聞切り抜き作品コンクール」で優秀賞等を獲得したレポートです。巻頭のトピックスでは、蝶の収集をライフワークとする若林会長がベトナムで新種を発見した快挙をご紹介します。

また、別冊（A4判カラー4ページ）には会計報告や維持振興基金の寄付者、その他の報告事項や懇親会（八王子）、社員総会・報告会兼意見交換会の案内等をまとめています。

### ◆懇親会（八王子）企画の拡充

昨年度から、八王子における懇親会

の名称を「ホームカミング・パーティー」に変更して実施いたしました。これは大学主催の「ホームカミングデー」にヒントを得たものです。

校友会が一般社団法人となって以降、新宿での社員総会・報告会兼意見交換会後に懇親会が行われるようになり、懇親会（八王子）と混同することがありました。また、卒業したばかりの若いOB・OGへ参加を呼びかける際に「懇親会」よりも「パーティー」のほうが響きが良いのではという意見があり、名称変更を行うことになりました。

このパーティーに際しては飲食物の内容、参加者が楽しめるプログラム進行に力を注いでいます。飲食物は、歓談しながら気軽につまめるサンドイッチやOGを意識したフルーツの盛り合わせ、セルフサービスで飲み放題のドリンクバー（ノンアルコール）を充実。一通り歓談して落ち着いた後半には「参加者全員が当たる」ビンゴ大会を企画。この盛り上がる様子は写真を見ていただければ一目瞭然ですが、事前にビンゴ景品を準備したりビンゴゲーム機材とステージを設営したりする運営スタッフの尽力があってこそその結果です。

### ◆おもいでCafé企画の充実

「おもいでCafé」は本会OB・OG有志が企画運営する特別事業で、高校の夢工祭（文化祭）に出店する喫茶店です。年に一度、母校へ集うOB・OGが集まれる場所として2011年度にスタートしてから昨年度で8回目となり

ました。

学校行事の場なのでメニューはソフトドリンクのみ、これを「ALL100（全て100円）」というキャッチコピーで提供いたします。また、軽食としてクッキーやおにぎりも販売しています。

出店にかかる費用は事業予算から支出し、その収益金（売上）は高校生徒会へ寄付しています。

なお、この出店に際しては学校行事への参加許可と当該教室の貸与等のご配慮を高校からいただいています。あらためて、母校教職員の皆さまへ厚く御礼申し上げます。

近年は高校のご協力により、卒業後のOB・OGのネットワークを密にするために「クラス委員」制度を設け、各クラスの代表を選任しています。若いOB・OGとのコミュニケーション手段としては本会ホームページはもとより、eメールやSNSの活用にも努めています。

このクラス委員の中から本会の事業計画と一緒に進める若いOB・OGが育ってゆくことを願い、活動報告とさせていただきます。

# 専門学校同窓会活動紹介

～誠実努力～

会長挨拶



専門学校同窓会  
会長 **渡辺 征三**

今年の工場見学会はキューポラのある町埼玉県川口の鋳物工場（永井機械鋳造株式会社）で火花の散る熱い現場で懇切丁寧の教授を受けることができました。また、懸案だった会員の意見交換をタイムリーに行うために同窓会ホームページの更新を取り組みました。併せてデスクトップパソコンとプリンターを導入し資料室でいつでも勉強し、意見交換ができる環境を整えることができました。残すはインターネット接続だけです。東京オリンピックを控えまた企業活動も国際化展開の必要から平山講師による英会話教室を開始しました。これらの企画に多くの参加をお願いいたします。新宿校舎の1Fアトリウムで自分の企業、勤務している会社のコンテンツ内容を披露しあい、おたがいが交流しレベルアップや提携等を図るイベントを企画しましたが校舎の耐震工事のため実施できませんでした。新年度には是非実現したいと思います。



専門学校同窓会ホームページ

## 専門学校同窓会 ホームページリニューアル

モバイル対応、住所変更及び問い合わせ、同窓会員の趣味、特技及び職場紹介と会員からの投稿を掲載できるホームページにリニューアルしました。また、専門学校ホームページから校友会ホームページにリンクできるようにしました。今後、さらに会員同士のコミュニケーションを図れるホームページを目指したいと思います。皆さんの建設的なご意見をお願いいたします。

## 7月21日 戸田造船郷土史料博物館見学会

夏の見学先は伊豆の戸田造船郷土史料博物館と駿河湾深海生物館の見学と名物の高足ガニのランチと「学ぶ、観る、食べる」と魅力のある見学会でした。

当日は川崎駅前からマイクロバスで18名を乗せて沼津市戸田に向かいました。

高速に乗るまで平山大先



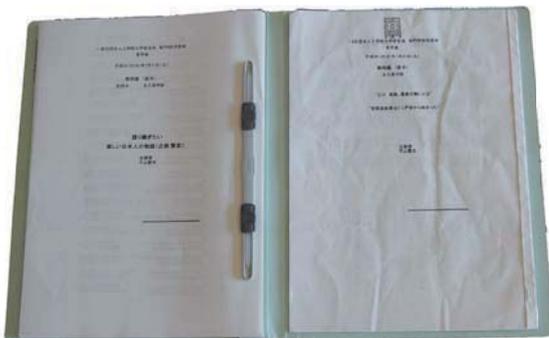
サロンバスの車中



戸田岬の展望台

生が作成された見学会資料（A4版ファイル142頁）と別冊の解説が配られ、説明と歓談の笑い声に現地に着く4時間程が短く感じられました。

昼食先の「の一食堂」で高足ガニの



見学資料

昼食後のひと時



見学会資料



永井機械鑄造株式会社  
吉野本部長の会社紹介



バケットからインゴットへ注湯作業



永井機械鑄造株式会社前



博物館入口

昼食でした。質、量ともに大満足の食事でした。(とにかくカニが大きい!!!)

昼食後バスに乗り御浜海岸駐車場から徒歩で博物館まで行きました。

博物館内には、建造のきっかけとなったロシアの軍艦ディアナ号の津波による被災をうけて沈没、さらにヘダ号建造に至るまでの経過も紹介されています。

最後になりますが見学会を企画協力して下さった方々、資料を作成して下さいました平山大先生、また櫻井様、ありがとうございました。

## 12月1日 鑄物工場見学会

「キューポラのある街」として知られている、埼玉県川口市で創業から50数年を迎える「永井機械鑄造株式会社」を見学しました。

川口市は、かつては鑄物工場であえ、



川口駅前  
キューポラ広場

鑄物製品



市内には幾つもの煙突が突き出した工場が軒を連ねていたが、今はビルやマンションが林立しベッドタウン化したなかの鑄物工場になりました。

当日の見学会時間に合わせて1530℃の溶湯の取り出しをしていただきました。

危険の伴うとのことで離れて見学し火花が飛び散る様は見応えがあるものでした。

見学の余韻が残るままJR川口駅前のキューポラ広場のモニュメント前で、記念写真を撮りその後は参加者の皆様と懇親会を行い、和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました。

最後になりましたが、この見学会を企画設営された諸氏並びに、永井機械鑄造株式会社様に感謝申し上げます。

# 群馬県支部

～ようやく活動が軌道に乗りました～

群馬県支部 支部長 岩瀬 栄子



同窓万歳

▷工学院大学(東京都)▷群馬県支部▷1月25日・前橋市内▷木村秀幸(前橋市・46)▷校友会新組織移行後、ことして3年目を迎えます。次回は6月28日に支部報告会を開催予定です。

群馬県支部は長い間活動を停止していましたが、平成24年7月21日に立ち上げの発起人会(支部設立会議)を現役員で開催し再スタートしました。今年で7年目を迎えます。主な活動内容は定例会である「6月の支部総会」と「1月の新年会」です。時にはそれに加えて日帰りハイキングを実施した年もあります。定例会の開催日は、ともにその月の最終日曜日としています。これはあらかじめ予定が立つように、また年1回は出席できるように配慮したものです。

会員への開催連絡はメール・手紙の他、本部の支部掲示板、出席者の口コミで行っています。また開催後、毎回地元紙「上毛新聞の同窓万歳」に投稿



しています。最近では少なくとも15名前後が出席します。6月の支部総会では、毎回会員による1時間以内の講演会を実施しています。今までの主な演題は、「富岡製糸場と世界遺産」「手作りカメラ」「町長として行政に携わって」「百名山を目指して」などです。講演者には些少ですが謝金を支払っています。

支部運営で心懸けてきたことは、単なる宴会だけではマンネリ化してしまうのではないかとことです。誰も

が参加して良かったと思えるよう、定例会では毎回出席者全員に必ず近況報告として3～5分程度発表の場を設けています。最近では資料配布をする方もいます。再立ち上げ時は予算ゼロで大変でしたが、本部の支援も増加し、最近では多少余裕も出てきました。今後、少しでも活動の幅が広がればと考えています。本部の皆様には今まで同様ご支援・ご指導をいただければと思います。よろしくお願い申し上げます。

# 石川県支部

～「校友の集い」を開催しました!～

Ishikawa

石川県支部 支部長 浅川 郁夫

2015年3月の北陸新幹線金沢開業より4年が経過するところですが、現在も首都圏を中心に多くのお客様に石川県を訪れて頂いております。

石川県支部は、野口前支部長のご逝去後、しばらく活動をお休みしておりましたが、北陸新幹線に遅れること1年、2016年より新体制で活動を再開したところです。

初年度は顔合わせとして、忘年会を開催いたしました。

2年目は、6月に支部長会議の報告会と暑気払いを開催、12月に地元放送局の社屋見学と忘年会を開催いたしました。

3年目となる2018年度は、石川県支部の総会を開催いたしましたので、その内容について活動報告したいと思います。

## 工学院大学校友会石川県支部 平成30年度「校友の集い」

日時：平成30年6月23日(土) 15:30～  
場所：KIST金沢科学技術専門学校  
参加者：15名

### 第1部 研修会

テーマ「3Dプリンタについて」

講師：石川県工業試験場 機械金属部 加藤直孝氏

3Dプリンタは、30年以上前からあった事や、意外にも日本人が開発したということに驚きました。その後アメリカの会社が特許を取得して産業化が図られ、近年特許が切れたことから、低価格化が進んで普及し始めたとの事



3Dプリンタ説明スライドと、手前がサンプル



支部総会後の集合写真

でした。

3Dプリンタの最大の特徴は、切削や鋳造では造形が不可能であった複雑な形状のものを作成できることで、特に工業製品等の試作品を作成することが容易になりました。

石川県工業試験場には3種類の3Dプリンタが配備されており、それぞれの特徴を伺いました。

#### ●石膏3Dプリンタ(石膏)

石膏粉末を接着剤で固めながら積層する方式、強度は低いがカラーで造形できるため、形状と色彩を含めたデザイン検証に適している。造形速度が速い。

#### ●樹脂3Dプリンタ(ABS、PC、ナイロン等)

様々な造形方式がある。工業試験場にあるものは、ワイヤー状の樹脂をヒーターで溶かしながら積層していく方式。サンプルのみならずそのまま製品として生産することもある。

#### ●金属3Dプリンタ(マルエージング鋼、SUS420等)

金属粉末にレーザーや電子ビームを照射し熔融させながら積層していく方式。現在最も利用されているのが、内部に複雑な冷却水管をもつ射出成形用金型で、単純な水管より金型の冷却効果を高めることができるとの事。

工業試験場では、実際にサンプルを

作成するところを見学することもできるとの事で、機会があればぜひ支部会で見学に訪れてみたいものです。

### 第2部 支部総会

今回は支部活動を軌道に乗せるために、会則の再整備と役員案などを提案し、賛成多数で承認されました。

議事

第1号議案 工学院大学校友会石川県支部会則(案)

第2号議案 支部役員(案)

第3号議案 平成29年度事業報告及び決算報告並びに監査報告

第4号議案 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)

報告事項

全国支部長会議の結果報告

### 第3部 交流会

場所：金沢市昭和町「底引き割烹 もんぜん」

総会后、場所を移動して校友の集いのメインイベントでもある交流会を開催しました。30代から80代まで幅広い年代から14名の参加をいただき、それぞれの近況を紹介し、大いに盛り上がりながら、交流を深めました。

今後も研修会や交流会を開催し、支部会員の交流を深めていきたいと考えております。



# 山口県支部

～第6回中国ブロック交流大会を終えて～

Yamaguchi

山口県支部 支部長 重村 修二

中国ブロック大会は、3年に1度持ち回りで開催されます。3年前は広島県の尾道で、その前は島根県の松江で開催されました。2017年の全国支部長会議で広島県支部長神田様より次回第6回開催を鳥取県へ打診していると伺いましたが、12月に入り第6回は山口県でと依頼がありました。かなりのプレッシャーでしたが、前支部長溝上様が生前にこのことを気にしていたことを思い出し、引き受けました。恒例の新年会の席で支部会員の力を合わせて大会の協力をお願いしました。3月までに会場を確保しなければなりませんので。宇部と徳山の副支部長、および萩の会計と相談すると、距離が離れているため私に任すとのこと。早速昔からの付き合いのある方に相談、皆さんに助けて頂きイメージどおりの案内状が出来て発送しました。

## 第6回中国ブロック交流大会 下関大会のご案内

(明治維新150年下関幕末維新探訪)

大会開催会場:

下関市(火の山)海峡ビューしものせき

大会日程:

2018年10月13日(土)・14日(日)

## 10月13日(土) (山口県支部会・中国ブロック交流大会)

会場の海峡ビューしものせきは内湯・露天・水風呂・サウナを完備。眼下に関門橋・関門海峡の大パノラマを望み、行き交う船の汽笛を聞きながらの一風呂は格別です。

お陰様で、支部組織部長上野耕平様はじめ埼玉県西支部から5名、広島県支部から11名、島根県支部から7名、



山口県支部から20名と43名の申し込みがありました。遠路からの方の宿泊もご希望通りに出来たと思います。例年山口県支部会は全国支部長会議の後7月に各地区下関・宇部・徳山・萩と当番制で行われますが、今回は時期をずらしてブロック交流大会前に行い、時間の合間に私の「修二の観た世界」を講演いたしました。支部会終了後、中国ブロック交流大会の開始となりました。

**大会挨拶:**山口県支部長 重村修二

**工学院大学校友会山口県支部の歴史**

山口県支部結成 昭和38年4月

**支部長:**

浜野善市 昭和38年4月～昭和52年3月

重村伝平 昭和52年4月～平成元年6月

重村修二 平成元年7月～平成2年3月

溝上俊治 平成2年4月～平成25年4月

重村修二 平成25年4月～

**来賓挨拶:**

本部役員支部組織部長 上野耕平

埼玉県西支部長 秋田彰一

広島県支部長 神田陽博

島根県支部長 中島浩司

**写真撮影:**集合写真撮影

**工学院大学学園歌(一番のみ):**

マンドリンで合唱

**歓談:**1分程度・自己紹介・マイクを回す

**終了後:**2次会

カラオケ・談笑

## 10月14日(日) (明治維新150年下関幕末維新探訪)

大型バスに乗り込み海峡ビューを出発、維新に散った391柱が祀られている櫻山招魂場櫻山神社の長い石段を登ると宮司さんが待っておられて、この場所の説明案内を詳しくいただき



ました。次の目的地関門自慢の海の幸がいっぱいのカモンワープに到着するとバス駐車場が満車でした。下関の人工島に大型船が入港したのでしょうか。唐戸市場の中・周りは外国人でいっぱいでした。次に我が国最古の禅寺建築の仏殿(国宝)のある侍町長府功山寺の大きな山門を潜り境内に入るとそこには馬上姿の高杉晋作像「回天義拳銅像」と国宝があります。地元のボランティアガイドや学芸員さんに高杉晋作(東行)墓所・梅処尼墓守や奇兵隊の沢山の墓がある吉田・東行庵など、館内と外を詳しく説明案内をしていただきました。最後に私のドローンで集合写真を撮影し維新探訪は終了です。その後、私の行きつけのレストランへ行き、遅い昼食でしたが貸し切りで周りに遠慮せず賑やかにエンジョイできました。そして予定通り海峡ビューへ帰着。大会が終わり肩の荷は下りたのですが、私の気持ちとして参加者の皆様に思い出として残る記念写真を送ることにしました。至らない点、手が届かない点、申し訳なく思っています。本当に遠路ご参加頂き有り難く感謝します。



# 高知県支部

～高知県の支部活動について～

Kochi

高知県支部 支部長 森 薫

高知県支部は1972年(S.47)11月に支部発会式を行い、翌1973年から毎年6月末に支部会(総会)を開催しています。今年で35回目の開催になります。

会員は約100名、役員8名、顧問1名で運営しています。支部会には毎年10人～15人の参加となっていますが、やはり若い会員の参加が急務となっています。

支部会には毎年、本部からゲストをお迎えしていますが、2017年は本県出身の吉田倬郎名誉教授が参加され、簡単な講義をされました。様変わりした八王子校舎の景観に、一同感慨深げに聞き入っていました。この時は、前香川県支部長の大西氏、現支部長の小川氏、支部組織部の甘粕氏、広報部の佐藤氏と多彩な顔ぶれが参加され、土佐の夜を満喫しました。



2018年6月 高知県支部会の模様

## 四国の支部について

四国には香川県、高知県に支部がありますが、現在支部組織部と連携して愛媛県、徳島県の支部立ち上げを進めています。

愛媛県は、もう一歩まで来ていますが、徳島県はあまり手掛かりがありません。どなたか徳島県にお知り合いがある方がいましたら、支部組織部までご一報下さい。

## 上海支局について

副会長の長崎孝彦氏(機械62卒)が、7年前から本県にあった三菱電機工場の上海移転に伴い、当地に移転し工場経営しています。2016年10月、支部関係者(前出佐藤氏含む)7人で上海工場視察弾丸ツアーを決行しました。広大な大陸に郷愁を感じ、オールド

JAZZバー、強烈な五粮液、上海ガニを堪能しました。

「工学院大学校友会百周年記念誌」に「台湾校友会」が掲載されています。校友関係者で、上海在住の方はいませんか?、長崎氏に声をかけて下さい。「上海校友会」おもしろいじゃないですか!



2018年4月 ジョン万次郎資料館(土佐清水市) リニューアルアクト

## ジョン万次郎について

高知には「坂本龍馬」の師匠にあたる“ジョン万次郎”(中濱万次郎)の存在があります。現在ジョン万次郎顕彰団体「土佐ジョン万会」の事務局長を仰せつかっています。

2018年4月、作詞:中浜京(万次郎直系5代目、名古屋在住) 作曲:森 薫で「ACROSS THE SEA with LOVE」というジョン万ミニコンセプトCDを発表しました。

ジョン万次郎共々、宜しく願い致します。



2017年6月 坂本龍馬銅像前にて(甘粕、森、佐藤)



2018年6月 高知県支部会の模様(吉田先生、講義)



2016年10月 陽澄湖、蒸し上海ガニ昼食の模様

## 総務部

総務部長 植木 幸裕

副部長／久禮 和彦

部 員／小野寺 康、佐藤 英雄、若林 勝司、  
小口 俊明、平山 徹夫



総務部は原則月1回の定例部会の他、社員総会前や集中審議が必要な場合の臨時部会を開催して活動しています。主な業務は、各種規則の制定や定款、規則類の改正に関する事、社員総会開催に関する事、校友会の事業計画に関する事、他部に属さない事項等多岐に亘っています。

平成30年度は、定款の改正に伴う代議員、理事、監事の各選出規則、事務職員やパート職員の就業規則、退職金規則等7本の規則を見直し、改正作業を行いました。

また、昨年度実施した代議員集会で提案された校友会の活性化案を具現化するための討議を重ね、徐々にではありますが実行に移されてきています。

そして平成31年度に是非とも実現させたいと取り組んできた「校友以外をも対象にしたセミナー実施の検討」では、モノづくりに携わっている方々の関心が高いテーマを選び、年に数回、シリーズで公開セミナーを開催する予定です。

日本一の校友会を目指し部員7名頑張っています。



## 財務部

財務部長 相澤 良夫

副部長／鄭 雄飛

部 員／湯尾 慶一、和田 欣也、川島 久宜、  
新井 英伸、香川 浩、飯塚 辰典、  
櫻井 良尚

財務部は、校友会の財産を守ることを使命に、四半期ごとに校友会の予算・決算に関する会計伝票をチェックし、預金残高等の収支確認、会計業務内容のチェックを行っており、校友会監事による定期的（中間、年度末）に行われる会計監査を受ける活動をしています。

### 1. 校友会会計チェックの実施

四半期ごとの決算書において、校友会の会計業務が適正に処理されていることを確認しています。決算書の予算対比正味財産増減計算書は、勘定科目を当年度と前年度対比で確認をしておりますが、各部から申請された予算執行状況を内容ごとに、執行済みか未執行かを把握する様式に部内検討確認資料として追加しました。予算の未執行内容を速やかに各部へフィードバック出来るよう結果管理からプロセス管理に改善をしました。

### 2. 維持協力会費納入のお願い実施

校友会は在校生が卒業年に納入される校友会費の収入を資金として事業を行っております。

しかしながら少子化や、文科省による東京都内の大学の定員抑制の理由から今後の新入学生の増加が難しく、会費収入が減少し、校友会財政も収支状況の悪化が予測されます。

平成30年度にOB・OGの校友会員の皆様に維持協力会費納入のお願いを5月と11月に実施させていただきました。お陰様で皆様に納入ご協力を頂きまして平成31年1月末現在、納入件数890件、納入金額3,615千円のご協力を頂きました。

校友会活動費や学園への援助及び学生生活への援助等に運用活用させていただきます。ありがとうございます。



## 広報部

広報部長 佐藤 弘規

副部長／浅利 信博

部 員／坂口 教子、名取 勝敏、安宅 恵理、  
新海 俊一、田中 元樹、井上 博明



広報部は、校友会報の発行及び校友会ホームページ(Web サイト)の更新・管理を主な活動として行っています。広報部の活動を通じて、校友会員の皆様に校友会の情報を幅広く発信し、校友会活動の魅力をお伝えしたいと考えています。

### 1. 校友会報の発行

年1回の発行物である「校友会報」を“手に取って読んでいただきたい”という想いで、部員一同、編集作業に取り組んでおります。校友会全体の一体感及び校友会活動の魅力を生み出せるように、掲載コンテンツの見直し・整理及びカテゴリー分けを工夫してきました。一方で、予算削減のため、会報のページ数の削減に努め、コンパクト化した一方、校友会の幅広いつながりを意識しました。今後も校友の皆様へのニーズに応えられるような会報づくりに取り組んでいきます。

### 2. 校友会ホームページ (Webサイト)の更新・管理

校友会ホームページ (Webサイト)のメンテナンスを定期的に行っています。今年度は、昨年実施いたしましたWeb診断を基に、スマホ対応を含めたWebサイトの改善を行いました。今後も、より多くの会員の皆様へ校友会Webサイトを閲覧してもらえるよう、改善に取り組みながら、校友会からの案内をはじめ、校友会イベントや支部、同窓会、OB・OGからの様々な情報を、リアルタイムで紹介していきたいと思っています。

## 同窓会組織部

同窓会組織部長 **小澤 和重**

副部長／鈴木 敏彦

部 員／成田 治、古川 和弥、唐崎 幸弘、  
萱沼 宏記、内野 正之、川崎 晃

同窓会組織部は、校友会主催のイベント、各同窓会の行事紹介、同窓会意見交換などの活動を行っています。2018年度は次の活動を行いました。

### 1. 新春の集い2019

今年の「新春の集い2019」は、平成31年1月13日(日)に若年からシニアまで多くの校友が新宿キャンパスに集い盛大に行われました。(詳細は7ページ)

### 2. 学術講演会

学術講演会は、博新会と共同開催で講師に本学卒業の先生方をお迎えし、毎回大変興味深いテーマの講演を行っています。2018年度は3月9日(土)に開催。

### 3. 新企画の校友会員交流会 「サタデートーク」

第3回「サタデートーク」は、2月2日(土)に「新しい時代を切り開くリーダーシップ」と題し本学情報学部システム数理学科教授新井敏夫先生をお迎えし興味深い講演テーマでOB・OGの中堅技術者やシニアを対象に行いました。

### 4. 学園行事の共催イベントへの協力、 各同窓会の行事・情報紹介など

10月27日(土)開催の「ホームカミングデー」で「蕎麦打ち」の学園・校友会共催イベントに協力致しました。また、各同窓会の行事・情報紹介や6月30日に池袋演芸場で行われた「三遊亭美らく独演会」への校友参加募集を支援しました。

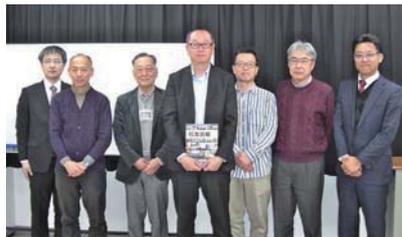


## 支部組織部

支部組織部長 **上野 耕平**

副部長／渡辺 征三

部 員／横田 仁、三田 一男、白井 精滋、  
甘粕 一彦、阿部 信夫、岡安 彰



支部組織部は、各地域支部の活性化を目的に活動を行っています。

### 1. 新規支部設立への協力

2018年度は青森県支部が再設立され地域支部は47支部となり、残る未設立支部は岐阜、三重、岡山、徳島、愛媛の5県です。引き続き支部設立の支援活動を進めます。

### 2. 支部活性化への活動

支部組織部員が各地区支部の報告会兼意見交換会に参加し、学園の近況や校友会の活動状況、他支部のイベントなどを紹介し、本部と支部との情報交換を行っています。

資金面では各地域支部の前年度の活動報告書と維持協会の入金状況を基に、支部活動支援金の交付を行っています。

### 3. 全国大会開催支部への支援

2020年の「大分県大会」に向け、大分県支部と協力し、準備を進めています。

### 4. 学園と地域支部との連携支援

8月に秋田県で開催されたソーラーカーレース応援に駆けつけ、結果は4回連続の優勝となりました。「わくわくサイエンス祭科学教室」では、恒例となっております「君はスーパー竹とんぼに勝てるか!」(愛知県支部)、「飾り炭を作ろう」(西東京支部)のサポートをしています。

## 学園連携部

学園連携部長 **長谷川 努**

副部長／小川 隆

部 員／木下 幸秀、志村 豊、矢ヶ崎 隆義、  
望月 千尋、宮木 義雄、勝谷 尚武、  
小俣 光一、佐藤 勝、篠崎 秀夫

学園連携部は学園と校友、学生・生徒と校友との連携強化と、学園や在校生に対する支援・寄付を行ってきました。

又、新しい支援の仕方を模索し、それらの具体的な展開を試みてきました。

### 1. 学生・生徒への助成金の交付

学生・生徒及び学生プロジェクトから「助成金交付申請書」が提出され7件の助成金の交付を行いました。

### 2. 優秀学生・生徒への奨励支援金の授与

大学院、大学、中・高等学校の優秀学生・生徒に対して表彰と奨励金を授与しました。

### 3. わくわくサイエンス科学教室への参加

昨年同様、会場に校友会ふれあいコーナーを設け校友と学生との交流を図ると共に、4件の科学実験テーマの企画運営を行いました。

### 4. 新宿祭、八王子祭、夢工祭への援助

学園の教育・研究事業に協賛し新宿祭、八王子祭、夢工祭への援助として、寄付を行いました。

### 5. ホームカミングデーへの支援

学園総務課と連携し企画及び開催準備を行い、又、独自企画として恒例の「地酒バー」を設け好評を得ました。

又、ホームカミングデー開催の援助として寄付を行いました。

### 6. 後援会との協調活動

今年2月に後援会支部の父母懇談会に伺い、地方出身学生の為の就職支援活動を行いました。

### 7. その他の活動

●企業OB会の検討 ●シーズ集の検討  
●OB会設立支援の検討 ●東京マラソン支援の検討 ●むつみ会等への支援の検討

以上学園連携部の平成30年度の活動を報告いたしました。



## ◆ 2019年度 主な行事予定

※開催場所は変更になる場合があります。

開催予定日	行事予定	開催場所	問い合わせ先
5月25日(土)	2019年度全国支部長会	新宿校舎	<b>校友会事務局</b> 電話 03-3342-2064 03-3340-1649 fax 03-3342-2035 e-mail : jimukyoku@kogakuin.or.jp
5月26日(日)	第7回社員総会 (同時開催:各同窓会報告会・懇親会等)	新宿校舎	
1月12日(日)	新春の集い2020	新宿校舎	
3月中旬予定	学術講演会	新宿校舎	

## ◆ 2018年度 表彰学生・生徒

学校	学部	学科	学年	氏名
工学院大学	大学院	機械工学専攻	2年	田中 彩音
工学院大学	大学院	化学応用学専攻	1年	佐野 拓哉
工学院大学	大学院	電気・電子工学専攻	1年	松原 恵
工学院大学	大学院	情報学専攻	2年	窪田 絢
工学院大学	大学院	建築学専攻	2年	釜谷 夏実
工学院大学	大学院	システムデザイン専攻	2年	張 文哲
工学院大学	工学部	機械工学科	2年	大淵 佑真
工学院大学	工学部	機械システム工学科	2年	森谷 駿
工学院大学	工学部	電気電子工学科	2年	遠藤 優海
工学院大学	情報学部	情報通信工学科	4年	中上 誠
工学院大学	情報学部	コンピュータ科学科	4年	関野 翔太
工学院大学	情報学部	情報デザイン学科	4年	森 知佳子
工学院大学	情報学部	システム数理学科	3年	石毛 優紀
工学院大学	建築学部		2年	森下かん奈
工学院大学	建築学部		2年	矢野 萌
工学院大学	建築学部		2年	林 美華
工学院大学	先進工学部	生命化学科	2年	吉田 滉基
工学院大学	先進工学部	応用化学科	2年	東雲 泉
工学院大学	先進工学部	環境化学科	2年	比企 優太
工学院大学	先進工学部	応用物理学科	3年	市川 龍磨
工学院大学	先進工学部	機械理工学科	2年	瀧 謙
附属高等学校		普通科	2年	長嶺 蒼人
附属高等学校		普通科	3年	佐藤 杏柚
附属高等学校		普通科	3年	鍋谷 朋哉
附属中学校			3年	清水 大輔
附属中学校			2年	川口 透和



## ◆ 学術講演会

2018年度の校友会学術講演会は、平成31年3月9日(土)、工学院大学博新会と共催で、講師に工学院大学情報学部システム数理工学科 学科長・教授 三木良雄氏を迎え、新宿キャンパスにて開催されました。「Cyber & Realが導く Society5.0 ~ Big Data/IoT/AI ~」というタイムリーなテーマに、佐藤光史学長など学園関係者および中島淳 博新会会長をはじめとする約50名の校友等が熱心に聴講しました。



## ◆ 受章報告

### 小野 正行 氏

瑞宝中綬章(教育研究功勞)を受章

平成30年秋の褒章で小野 正行氏(1964年大学建築学科卒)が瑞宝中綬章の栄誉を受けられました。おめでとうございます。



### 鈴木 利一郎 氏

瑞宝双光章を受章

平成29年秋の褒章で鈴木 利一郎氏(1970年大学生産機械工学科卒)が瑞宝双光章の栄誉を受けられました。おめでとうございます。



## 訃 報

次の方がご逝去になりました。生前のご活躍を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。

**岡崎 明男 氏** 平成30年4月17日ご逝去  
大学機械工学科1974年卒

氏は現職の校友会監事を務めておられました。

**望月 大介 氏** 平成30年4月20日ご逝去  
大学建築学科1964年卒

氏は大学建築学科教授を務められながら、校友会の元理事も務められました。

## ◆ 最後の「7機同期会」開催報告



2018年10月27日(土)、卒業から60周年となる《最後の「7機同期会」》を新宿校舎中層棟8階のファカルティクラブにて開催しました。

機械工学科第7回卒同期の集まりを「7機会」と称し、卒業38年後の1996年10月に40名の会員で発足しました。年1回の集まりと、「7機会誌」(誌名はその後2回変更)の発行を2007年まで続け、出席者数の減少に伴い、協議の結果閉会を決定しました。

その後2010年に横浜を基点にした「同好会」が結成され、横浜市内のレストランや中華街にて食事会を春・秋の年2回開催することになりました。

2017年10月の食事会で今回の《最後の7機同期会》開催計画の提案があり、「同好会」のメンバーが発起人となって企画・実行することに決まりました。そして同じ7回生として「1部・2部」合同開催を呼びかけ約60名に案内を発送。合計32名の返信があり、実際の出席者数は8名にとどまりましたが、その多寡にかかわらず返信内容に込められたメッ



セージは解散後11年経ても我々の同期会への思いは変わりないと感じさせられました。

最後の会誌「7 KIKAI NEWS」第19号(最終号)に寄稿された分的一端を紹介しします。

《お互い同期の学友として楽しく語り合い、戦後の復興に大いなる実績を持って寄与したこと、華々しく地味な裏方の技術を担ってきた学友を持ったことを誇りに思う》《いつの日か再開の日が有らん事を夢見、残る余生を頑張ります》など、同様の文章が続きます。

「7機会」を解散しましたが、現在横浜で春(4月)秋(10月)年2回の食事会を今後とも続けていくので参加希望の方は7回生にかかわらず申し込んでいただきたいです。

連絡先: 海老澤 雄 Tel.046-257-7004

## ◆ 体育会連合OB会

～東京マラソン10回目のボランティア活動～

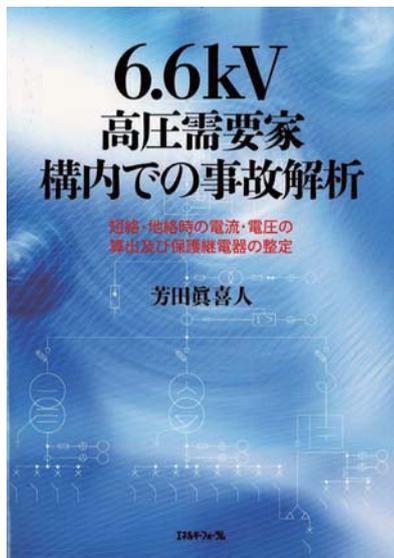
体育会連合OB会 來住

東京マラソンが3月3日(日)に行われましたが、もう10回目のボランティア活動となりました。活動内容はランナーへの施設・トイレ提供が主で朝6時半から活動開始、8時にはほとんどランナーはいなくなり、静かになった校内の清掃と器具を元に戻し解散するのですが、この4時間は活動の氷山の一角で、これは前回紹介済みですので今回は水面下の準備を紹介致します。

東京マラソンが開催される頃、3年生は就職活動期間なので活動の大半が八王子の1、2年生です。新宿校舎とスタート地点の位置関係、学園施設の間取りも

一夜漬けで対応する。その施設借用には逆算して年末には学園に申請をしますが、その頃に役員の新交代もあり、忘れないように行わねばなりません。大会2週間前の土曜日にはOBと作り上げたマニュアルに沿って手順を確認し、それをメールで当日参加者に送信し情報共有をします。さらに大会前日の土曜日には最終確認のためトイレ誘導表示やゴミ箱投入口封鎖等を行い、当日は朝6時半に新宿校舎に集結します。八王子周辺の在住者が多く、新宿校舎6時半集合には始発乗車が大半ですので、参加者の確保にも苦勞をしながら続けております。





## ◆ 校友による著書紹介

### 6.6kV高圧需要家構内での事故解析

短絡・地絡時の電流・電圧の算出及び保護継電器の整定  
芳田眞喜人著（1970年電気工学科卒）

公共施設、大型工場等で発生する各種電気事故を解析し、波及事故（停電）の減少に役立つ電気保安管理業務従事者が理解しやすい新しい形の事故解析入門書で、現役の電力会社会長の「推薦のこぼれ」が掲載されています。

2018年12月31日初版発行  
出版社：エネルギーフォーラム  
3,500円+税

## ◆ 生涯メールサービスの提供のお知らせ

（学）工学院大学では学園や校友会からのお知らせや利用者間のコミュニケーション手段として2019年3月より生涯メールサービスの提供を開始いたしました。校友の皆様も申請頂くことによりご利用できます。

### 対象者

- ・大学・附属中学校高等学校・専門学校の卒業生
- ・大学院の修了生
- ・専任教職員

### メールアドレス

メールアドレス1  
(ローカルパート)@ g.kogakuin.jp

メールアドレス2  
(ローカルパート)@ kute.tokyo

※2つのメールアドレスが利用可能ですが、どちらのメールアドレスも同じメールボックスに届きます。  
※ローカルパートは申請時に希望を申し出ていただきますが、先着順となるため重複時は調整となります。

### 申し込み方法

学園ホームページにある「生涯メール利用案内」をお読みの上、電子メールもしくは郵送にて校友会事務局までお申し込みください。その際、氏名、希望ローカルパート（3つ）、卒業学校（学部学科）、卒業年、本人確認書類（運転免許証、健康保険証など氏名、生年月日、住所記載の公的証明書）のコピー、校友会番号が必要となります。郵送の場合は送付先の郵便番号、住所、氏名（本人）を記載の上、所定の切手を貼った返送用封筒（長4が望ましい）も同封してください。

学園ホームページ 生涯メール利用案内  
[https://www.kogakuin.ac.jp/ict\\_support/](https://www.kogakuin.ac.jp/ict_support/)

### 申込み・問合せ先

工学院大学 校友会事務局  
E-mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp  
住所：〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

## ◆ 施設のご利用について

校友会談話室及びファカルティクラブのご利用を希望される方は、校友会事務局までご連絡をお願いします。なお、校友会ホームページ（申請・届出フォーム）からもお申し込み可能です。お申し込み後、事務局から利用可否を返信いたします。

### 校友会談話室

新宿キャンパスの高層棟28階にある校友会談話室は、校友会員間の親睦や同期会、サークル等でご利用いただけます（16名程度まで）。日曜日・祝祭日・学園休日を除く9時から17時までご利用可能です。セルフサービスのコーヒーを用意しておりますので、会員の皆様が東京・新宿においでになった際は、どうぞお立ち寄りください。

### ファカルティクラブ

2019年度ファカルティクラブは、新宿校舎一階のリニューアル工事に伴い、使用できなくなっております。詳細は校友会事務局にお問い合わせください。

[校友会事務局]

✉ jimukyoku@kogakuin.or.jp ☎ 03-3342-2064

# 2019年度校友会役員紹介



## 次期校友会会長 就任挨拶

**田野邊 幸裕**

1969年卒業 / 大学建築学科

全国の校友の皆様、この度、2月1日開催の臨時社員総会に於きまして、次期会長として選出されました1969年(昭和44年)建築学科卒業の田野邊幸裕でございます。

私に与えられた時間は、「令和元年5月26日～令和3年5月30日」の2年間です。

### 【校友会の目的】

定款(第5条・6条)から抜粋

学校法人工学院大学の設置する諸学校の教育事業を援助し、あわせて学園出身者相互の親睦提携を図り、学園及び地域社会の発展に貢献することを目的とする。

そして、目的を達成するための事業を、定款(第6条)に掲げています。その事業は財源が無いと達成できないものが大半です。

まず下記の「財源の確保」を最優先にトライしま



## 次期校友会副会長 就任挨拶

**鄭 雄飛**

1964年卒業 / 附属高校建設科

この度、田野邊新会長のご指名により、副会長に選任されました鄭雄飛です。

私は校友会評議員を経験し、校友会代議員となり現在理事の3期目になります。これまで総務部・財務部に所属し頑張ってきました。

そして、附属高校同窓会では、活動が活発化するよう実務レベルの運営を若手同窓生が積極的に担

す。

**1) 財源の確保**：現在は経費を極限まで圧縮し、収支のバランスを保つのが精いっぱい。そこで、協力金の収集方法の改善や収益事業の開拓等を進め、収支の検証を適切に進めながら財源の確保に努めます。

**2) 学園・学生への支援強化**：「財源の確保」を進めたうえで、各同窓会と一体となり支援の強化に努め、現役学生から頼られる校友会を目指します。

**3) 日本全国のネットワークの有効活用**：日本全国で活躍している校友がいる。この素晴らしい財産を活かしたネットワークを、全国支部と一体となり運営してまいります。

**4) 活躍されている校友を積極的にPR**：OB・OGの活躍を、広く社会に向かって積極的に情報発信します。現役学生は先輩の活躍が刺激となり、併せて学園の認知度向上に貢献したいと思います。

学園の130年の歴史と重みを誇りとし、更なる発展を目指して学園と校友会が連携して「現役学生及び卒業生会員のために、私たち校友会は何ができるか」を、チャレンジしてまいります。

校友の皆様方の積極的な参加、ご支援ご協力を、よろしくお願いたします。

える体制作りを心がけてきました。

今回、新たに就任しました田野邊会長の学園・学生から頼られ、そして日本全国の校友に支持される「校友のための校友会」を目指すために、掲げている財源の確保をはじめとした改革案の実現に向けて副会長として、全力でサポートする所存です。

また、副会長は会長と総務部をはじめとした各部とのパイプ役でもありますので、会全体の運営が上手くいくように気配りや目配りを忘れずに、全体を見て動けるようにと考えています。

校友の皆様と協力して一步一步前に進んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 支部長

2019年4月現在

支部名	支部長名	出身同窓会
北海道	稲田 光男	化学系
青森県	北川 良治	機械系
岩手県	工藤 一博	電気系
宮城県	荒川 捷英	電気系
秋田県	佐々木 修	電気系
山形県	鈴木 公章	建築系
福島県	斉藤 信一	電気系
茨城県	南 弘	機械系
栃木県	鈴木 誠治	建築系
群馬県	岩瀬 栄子	建築系
埼玉県中央	徳田 博文	電気系
埼玉県西	秋田 彰一	化学系
千葉県	横田 仁	機械系
東京	椋田 實	電気系
西東京	小林 保男	高校
川崎	平山 徹夫	専門
横浜	佐藤 英雄	建築系
湘南	藤田 直人	化学系
相模	中里 利男	電気系
西湘	諸星 佳之	電気系
新潟県	不在	
富山県	藤井 裕久	建築系
石川県	浅川 郁夫	建築系
福井県	乾 義秀	化学系
山梨県	浅川 哲	化学系
長野県	友野 稔	電気系
静岡県	石神 雅昭	化学系
愛知県	石田 英雄	機械系
京滋	木村 左右吉	機械系
大阪	平岡 幸雄	電気系
兵庫県	佐々木 三七司	電気系
奈良県	北隅 秀夫	建築系
和歌山県	南部 高史	電気系
鳥取県	石賀 将己	建築系
島根県	中島 浩司	建築系
広島県	神田 陽博	機械系
山口県	重村 修二	機械系
香川県	小川 好清	電気系
高知県	森 薫	化学系
福岡県	高巢 光男	建築系
佐賀県	南里 義光	電気系
長崎県	不在	
熊本県	口元 恵策	建築系
大分県	渡辺 光治	電気系
宮崎県	片地 昭次	建築系
鹿児島県	増山 英樹	建築系
沖縄県	知花 毅	建築系

## 次期役員紹介

### 次期理事

植木 幸裕	湯尾 慶一	矢ヶ崎 隆義	川島 久宜	島林 正美	宮木 義雄	関谷 源次		
1975年卒業 大学機械工学科	1984年卒業 大学機械工学科	1974年卒業 大学化学工学科	2007年卒業 大学マテリアル科学科	1974年卒業 大学電気工学科	1986年卒業 大学電子工学科 電子工学コース	1980年卒業 大学建築学科		

### 次期理事

佐藤 弘規	若林 勝司	平山 徹夫	櫻井 良尚	楠 昭	飯塚 辰典	山川 義則	
1999年卒業 大学建築学科 都市建築デザインコース	1969年卒業 附属高校普通科	1978年卒業 専門学校金属加工科	1985年卒業 専門学校機械科	1974年卒業 大学建築学科 建築学コース	1975年卒業 附属高校電気科	1968年卒業 専門学校機械科	

### 次期監事

楠 昭	飯塚 辰典	山川 義則	
1974年卒業 大学建築学科 建築学コース	1975年卒業 附属高校電気科	1968年卒業 専門学校機械科	

# 維持協力会費納入者ご芳名

日頃より校友会活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。維持協力会費納入のお願いに際しましても多大なご協力を頂きありがとうございます。おかげさまで、2019年1月末までに890件3,615,444円のご協力を頂きました。校友会活動や学園及び学生支援に運用活用しておりますことをご報告申し上げます。

2018年2月～2019年1月までに維持協力会費を納入された方々のお名前を同窓会別、卒業年順に掲載しております。敬称は省略いたしました。複数の同窓会所属の方は振込票の会員番号の同窓会に掲載いたしました。

## 機械系同窓会

- 1952 田島 邦久
- 1955 吉川 孝之
- 1956 横地 良成
- 1957 柿木 秀輝
- 1957 杉浦 康平
- 1957 仲田 彗男
- 1957 池田 伸清
- 1957 岡田 明
- 1958 海老澤 雄
- 1958 大橋 作栄
- 1958 斎田 三郎
- 1958 伊藤 正
- 1960 田中 正春
- 1960 小沼 義郎
- 1961 渋谷 博明
- 1961 高橋 淳
- 1961 横松 壽二
- 1962 猪狩 一守
- 1962 齊藤 四郎
- 1962 関谷 敷
- 1962 福田 忠彦
- 1962 宮内 保幸
- 1962 宮野 昇
- 1962 吉川 和彦
- 1962 佐藤 房雄
- 1962 田中 良雄
- 1962 松浦 勝義
- 1963 返町 功
- 1963 草間 祥介
- 1963 鈴木 陞
- 1963 馬場 靖孝
- 1963 日野 岩雄
- 1964 笠原 又一
- 1964 田中 瑞樹
- 1965 岩田 秀明
- 1965 岩本 英征
- 1965 小林 朗
- 1965 佐々木 徹
- 1965 白木信二郎
- 1965 関谷 重彦
- 1965 田中 英生
- 1965 酒井 康雄
- 1965 志賀 剛
- 1965 鈴木 肇
- 1965 田辺 英孝
- 1965 根本 虎彦
- 1965 弓削 武男
- 1965 小川 勝己
- 1965 尾身 幸男
- 1965 高橋 俊策
- 1965 吉川富士男
- 1965 内山 逸弘
- 1966 岩本 信治
- 1966 浦田 精一
- 1966 木村左右吉
- 1966 玉田 輝男
- 1966 本田 邦道
- 1966 本田 信之
- 1966 阿部礼太郎
- 1966 古賀 紘
- 1966 小林 克忠
- 1967 上原 成介
- 1967 紺屋 隆
- 1967 布目 潮崇
- 1967 茂木 一男
- 1967 根本 俊雄
- 1967 安藤 建
- 1968 大山 正雄
- 1968 重村 修二
- 1968 五十嵐幸信
- 1968 池下 克彦
- 1968 簡野 紀夫
- 1968 木下 幸秀
- 1968 塩川 悦男
- 1968 鈴木 芳
- 1968 和田 進一
- 1969 大野 英夫
- 1969 小栗 賢一
- 1969 多田 庸男
- 1969 中台 好弘
- 1969 南 弘
- 1969 並木 光雄
- 1969 酒井 均
- 1969 福田 末廣
- 1970 相原 邦男
- 1970 浅見 憲一
- 1970 石田 英雄
- 1970 上田浩四郎
- 1970 小川 静雄
- 1970 藤論志 (智)
- 1970 久保田和仁
- 1970 武田 光雄
- 1970 播田 光行
- 1970 藤井 政治
- 1970 森 敏樹
- 1970 山崎 博
- 1970 渡辺 文矢
- 1970 雨池 一實
- 1970 小磯 章治
- 1971 遠藤 洋
- 1971 久米 俊夫
- 1971 駒澤 猛
- 1971 有岡 光男
- 1971 小川 文夫
- 1971 北原 茂
- 1971 前田 道德
- 1971 遠藤 修
- 1972 天沼 茂夫
- 1972 川合 一三
- 1972 神田 陽博
- 1972 水澤 久夫
- 1972 青木 行雄
- 1972 金井康太郎
- 1973 後藤 光夫
- 1973 新美 幸久
- 1973 栗本 茂生
- 1973 成田 治
- 1973 堀内 博典
- 1973 横田 仁
- 1973 石原 正博
- 1973 皆川 誠吉
- 1974 石井 和彦
- 1974 海藤 潤二
- 1974 岡崎 孝宣
- 1974 小松崎裕久
- 1974 大野 好和
- 1974 山下 晴久
- 1974 赤沢 房次
- 1975 植木 幸裕
- 1975 唐鎌 貞郎

- 1975 橋爪 久美
- 1975 井戸川伸則
- 1975 飯野 和広
- 1976 高橋 寛仁
- 1976 大塚 浩一
- 1976 柴田 誠
- 1977 磯久 毅
- 1977 佐藤 賢一
- 1977 友近 信武
- 1978 天野 富夫
- 1978 平田 三雄
- 1979 矢沢 尚彦
- 1979 平田 秀穂
- 1979 北村 友一
- 1980 岡尾 克彦
- 1980 長谷部重幸
- 1980 羽太 勇
- 1980 畑 淳一
- 1980 高野 優
- 1981 近藤 智
- 1981 黒木 隆明
- 1981 千賀 吉展
- 1984 湯尾 慶一
- 1985 海江 秀樹
- 1986 高橋 修
- 1987 柴藤 俊郎
- 1987 細田 健司
- 1989 千枝 智
- 1989 山名 正哉
- 1991 二見富士彦
- 1993 武下 研
- 1993 川西 弘城
- 1993 當麻 秀樹
- 1997 榎本 卓晃
- 1997 一柳 裕昭
- 1998 白鳥 邦晃
- 1999 稲葉 誠治
- 1999 坂口 教子
- 2000 北原 穂積
- 2000 宮田 恵子
- 2003 長峯 弘幸
- 2004 高橋 謙介
- 2005 大岩 久峰
- 2006 山口 裕大
- 2007 民部 俊貴
- 2007 松村 秀太
- 2008 岡田 繁宣
- 2008 稲井 憲二
- 2010 森 健亮
- 2012 久保 直紀
- 2014 加田 憲祐
- 2014 柴原 賢一
- 匿名 20件

## 化学系同窓会

- 1953 島村 恒夫
- 1954 丹羽 宏之
- 1954 泉澤 包典
- 1954 土田 昭一
- 1960 小熊 重男
- 1960 高崎 宗利
- 1960 宮崎 久弘
- 1960 若栗 徳男
- 1961 佐藤 昌宏
- 1961 中尾 猛
- 1961 大迫 利

- 1961 佐藤 渉
- 1961 関根 新一
- 1962 橋本 佳能
- 1962 小山内 敏
- 1962 合田 房雄
- 1962 佐藤 浩安
- 1962 中込 孝之
- 1962 池田 和正
- 1962 宇田川伯義
- 1962 佐藤 重剛
- 1962 福田 芳雄
- 1963 佐藤 俊彦
- 1963 馬場 進
- 1963 松本 武雄
- 1963 近藤 利夫
- 1964 梅原 和夫
- 1964 刈部 宣一
- 1964 佐藤 恵子
- 1964 高橋 卓雄
- 1964 佐久間守人
- 1964 須田 俊男
- 1964 湯川 治夫
- 1965 松原 征志
- 1965 山崎 哲三
- 1966 大津幹太郎
- 1966 吉川 重克志
- 1966 関原 克章
- 1966 田辺 清
- 1966 若松 昭秀
- 1966 豊島 武
- 1967 徳永 正昭
- 1967 長島 珍男
- 1967 東條 博典
- 1968 遊馬 靖美
- 1969 金子 直之
- 1969 西藤 敏男
- 1969 岩本 博行
- 1969 高市 正波
- 1969 仲野 武彦
- 1969 馬島 晴夫
- 1969 高原 俊之
- 1970 泉 信雄
- 1970 菅原 康里
- 1970 松原 進
- 1970 山崎 正
- 1970 田中 宣雄
- 1971 和田 欣也
- 1971 林 猛
- 1972 秋田 彰一
- 1972 北原 恵一
- 1972 月岡 忠
- 1972 松村 恵司
- 1973 志村 豊
- 1973 白井 精滋
- 1973 浜田 康裕
- 1973 吉村 裕至
- 1974 赤羽 彰雄
- 1974 菊川 博文
- 1974 中島 敏夫
- 1974 高橋 永治
- 1974 矢ヶ崎隆義
- 1975 小浜 文夫
- 1976 長田 誠
- 1976 坂野 哲夫
- 1976 宮下 一義
- 1977 久慈 英樹

## 電気系同窓会

- 1959 中村 輝一
- 1960 森 茂樹
- 1960 江袋 林蔵
- 1960 河本 洋次
- 1961 本間 隆
- 1962 磯 三男
- 1962 小川 道雄
- 1962 加藤 勇
- 1962 佐藤 英寿
- 1962 鈴木 良平
- 1962 高田 貢
- 1962 橋本 保秀
- 1962 藤村陽一郎
- 1962 吉岡 道雄
- 1962 糸数 倫則
- 1963 齋藤 茂樹
- 1963 鮎澤 壽久
- 1963 川村 尚成
- 1963 中島 鈴之
- 1963 内田 忠男
- 1963 柳沼 君忠
- 1964 石塚 良秀
- 1964 上野 統司
- 1964 梅津 公次
- 1964 蔭山 洋一
- 1964 西野 罔勝
- 1964 渡辺 静雄
- 1964 高橋 静昭
- 1964 長島 浩
- 1964 仲原 里治
- 1964 福元 儀智
- 1964 染谷 博
- 1964 早川 勝
- 1964 水江紀久雄
- 1965 小早川庸行
- 1965 高田 正稔
- 1965 藤保 昇
- 1965 寺田 邦男
- 1965 藤川 洋
- 1966 阿波連 彰
- 1966 大塚 正男
- 1966 椎名 務

- 1966 松本駿太郎
- 1966 倉賀野孝行
- 1966 安田 博一
- 1967 杉原 精一
- 1967 南里 義光
- 1967 秋山 仁士
- 1967 森 信二郎
- 1968 遠藤 昊
- 1968 渡辺 光治
- 1969 中田 幸
- 1969 笠原 衛兵
- 1969 藤井 決
- 1969 荒川 捷英
- 1969 岡田 清一
- 1969 井上 公男
- 1970 梶 孝秋
- 1970 来住 康弘
- 1970 久禮 和彦
- 1970 小林 啓一
- 1970 白鳥 敏明
- 1970 西村 学
- 1970 小林 利道
- 1970 中野 雅夫
- 1970 真野 哲三
- 1970 椋田 實
- 1970 米沢 元進
- 1970 川本 博
- 1970 福田 孝一
- 1970 芳田眞喜人
- 1970 甘粕 一彦
- 1971 奥原 正道
- 1971 小野 彰
- 1971 金子 博
- 1971 佐々木三七司
- 1971 田中 政司
- 1971 十五陽一郎
- 1971 中山 正博
- 1971 橋本 信一
- 1971 長谷川 努
- 1971 藤咲 孝
- 1971 小形 紀弘
- 1971 知念 利夫
- 1971 波多野 誠
- 1971 吉浜 一
- 1971 古沢 良夫
- 1971 矢島 寛
- 1972 石川 勲
- 1972 喜納 進
- 1972 竹本 正勝
- 1972 栗田 隆
- 1972 齊藤 周平
- 1973 石北 宗一
- 1973 上野 耕平
- 1973 大谷 高一
- 1973 音地 寛久
- 1973 小野 幸男
- 1973 古賀正一郎
- 1973 鈴木 幹夫
- 1973 大野耕市郎
- 1973 上野 忠明
- 1974 島林 正美
- 1974 宮田 彰久
- 1974 大久保 清
- 1974 中尾 英明
- 1974 南部 高史
- 1974 小峰 秀樹

- 1974 菊川 亘
- 1975 工藤 一博
- 1975 小平 善光
- 1975 小濱健二郎
- 1975 徳田 博文
- 1975 藤原 達雄
- 1976 平本 清孝
- 1976 吉賀 撰
- 1976 橋 修三
- 1977 前田 立雄
- 1977 稲垣 信夫
- 1977 中島 健次
- 1977 中田 一寿
- 1978 中井 孝尚
- 1978 日下田 稔
- 1978 萩原 潤
- 1979 綾部 栄
- 1979 大澤滋太郎
- 1979 根本 弘道
- 1979 加村 雄二
- 1980 関根 昌裕
- 1980 若井 克友
- 1980 大谷 孝治
- 1980 安藤 正巳
- 1981 竹中 了
- 1982 梶谷 哲也
- 1983 唐崎 幸弘
- 1985 鈴木 久夫
- 1986 宮木 義雄
- 1986 熊坂 巧
- 1988 山田 清
- 1988 富田 高弘
- 1989 石橋 誠
- 1989 田中 肇
- 1989 斎藤 義則
- 1992 清水 泰雅
- 1995 田中 久弥
- 1996 杉田 有一
- 2000 菲澤 一之
- 2003 國定 義典
- 2004 箕谷 祐也
- 2008 伊藤 弘二
- 2010 坂井 直之
- 2011 宇佐見健一
- 2012 瀧川 勇人
- 2018 松本 堅太
- 匿名 39件

**建築系同窓会**

- 1959 神前 健
- 1959 南迫 哲也
- 1960 松澤 鷹三
- 1961 笠松 征郎
- 1962 板谷 信
- 1962 新津 昌勝
- 1962 谷 政美
- 1962 山田 伸一
- 1962 山本 海南
- 1963 石川 良男
- 1963 勝俣 邦雄
- 1963 高岡 敏夫
- 1963 藤森万里夫
- 1963 奥田 幸司
- 1964 木村 光信
- 1964 黒澤 久
- 1964 酒井 紘一
- 1965 南口 恒夫
- 1965 沢田 洋二
- 1965 長谷川 晃
- 1965 浜田 肇

- 1966 佐藤 紀次
- 1966 笠 覚暁
- 1966 青木喜代司
- 1966 山田 雅孝
- 1966 関 五郎
- 1967 奥山 俊次
- 1967 佐藤 亨
- 1967 真尾 博
- 1967 横井 信明
- 1968 伊藤 真人
- 1968 内山 一郎
- 1968 日下部銃五郎
- 1968 平野 剛
- 1968 福智 正純
- 1968 丸山 洋征
- 1968 西村 倫彦
- 1968 阿部 信夫
- 1968 伊庭 孝
- 1968 具志堅光男
- 1968 高巢 光男
- 1968 田口 達
- 1969 谷口 宗彦
- 1969 田野邊幸裕
- 1969 寺田 初枝
- 1969 友野 稔
- 1969 沼尾 俊郎
- 1969 小松 邦彦
- 1969 高橋 一元
- 1969 松本 一男
- 1969 斉藤 幸一
- 1969 坂口 周平
- 1969 初田 亨
- 1969 本沢 宗夫
- 1969 前田 清行
- 1970 岩瀬 栄子
- 1970 辻岡 義雄
- 1970 寺田 正堯
- 1970 平井 真夫
- 1970 藤沼 憲治
- 1970 飯田 隆三
- 1970 小名木朝光
- 1970 勝谷 尚武
- 1970 渡部 哲次
- 1971 楡井 紀秀
- 1971 栗田 博義
- 1971 田中 研彰
- 1971 渡辺 史郎
- 1971 鈴木 公章
- 1972 大野 寛
- 1972 佐藤 英雄
- 1972 中島 範義
- 1972 野村 雄悦
- 1972 鈴木 達志
- 1972 梶 徳治
- 1972 西野 元晴
- 1972 濱田 昭夫
- 1972 重田 猛
- 1973 阿部 信義
- 1973 上田 卓司
- 1973 粕谷 勝美
- 1973 中川 博正
- 1973 山崎 忠幸
- 1973 吉田 登
- 1973 島田 敏幸
- 1973 細田 次郎
- 1973 酒井 明
- 1973 原 勇次
- 1973 増山 英樹
- 1973 小島 民久
- 1974 廉沢 映治

- 1974 楠 昭
- 1974 河野 工
- 1974 古賀 誠
- 1974 篠原 良
- 1974 比嘉 康夫
- 1974 宮田 栄
- 1974 平田 洋一
- 1974 小久保佳昭
- 1974 大島 英雄
- 1974 野口 昭和
- 1975 岩本 秀雄
- 1975 高橋 孝栄
- 1975 高松 茂雄
- 1975 小内 實
- 1975 菅野 茂
- 1975 高瀬 栄介
- 1975 依田 一
- 1976 井上 保夫
- 1976 後藤 敏明
- 1976 嶋田 修
- 1976 五月女元良
- 1976 高屋 秀喜
- 1976 山越 衛
- 1976 吉田 進
- 1977 霜田 隆
- 1977 谷川 一雄
- 1978 伊藤 敏
- 1978 高野 松寛
- 1978 中澤 義徳
- 1978 森 正夫
- 1979 内野 正之
- 1979 木村 雄一
- 1979 高木 雅行
- 1979 鳥山 富幸
- 1979 花岡 栄治
- 1980 赤羽 正康
- 1980 関谷 源次
- 1980 知花 毅
- 1980 大原 健市
- 1981 佐藤 明
- 1981 山根 秀明
- 1982 加藤 滋
- 1982 鈴木 敏彦
- 1983 大谷 孝志
- 1983 高田 良晃
- 1984 川上 一盛
- 1986 北隅 秀夫
- 1986 不破 達生
- 1986 長崎 美紀
- 1987 畑山 芳広
- 1988 須崎 拓司
- 1989 間間 至
- 1989 橋本 典彦
- 1991 香川 浩
- 1991 新海 俊一
- 1991 渡邊 文博
- 1992 表 俊博
- 1992 杉山 正紀
- 1994 西川 豊宏
- 1997 古谷 亨
- 1998 萱沼 宏記
- 1998 熊川 輝之
- 1998 内田 猛
- 1999 北川 穂高
- 1999 和田 一樹
- 1999 佐藤 弘規
- 2000 郡 奈麻
- 2001 丸山 直之
- 2001 仙波 弦
- 2003 篠崎 康治

- 2005 豊川 智彰
- 2009 山岸 梨香
- 2010 野中 英治
- 2012 仲野 祥平
- 2013 樋口 彰文
- 2014 清水 大地
- 2016 山岸 慧大
- 匿名 31件

**高校同窓会**

- 1949 土田 昭一
- 1951 稲葉 勇
- 1951 神崎 友見
- 1955 松浦 光輝
- 1956 梅原 陽
- 1957 石渡 秀夫
- 1957 米沢善治郎
- 1958 高橋 弘
- 1959 鶴岡 由一
- 1960 高木 賢治
- 1960 五十嵐 功
- 1960 鈴木 肇
- 1961 秋田 勝也
- 1961 三宅 捷夫
- 1961 渡邊 邦雄
- 1963 市川 周平
- 1963 小林 保男
- 1963 滝島 正之
- 1963 黒米 富雄
- 1963 篠 欣克
- 1963 鄭 雄飛
- 1964 倉内 重耐
- 1964 小野 正宝
- 1966 有岡 光男
- 1967 星野 明
- 1968 若林 勝司
- 1968 塚本 和秀
- 1969 君塚 貞夫
- 1972 太田 正利
- 1974 内野 正之
- 1974 内堀 錦吾
- 1974 飯塚 辰典
- 1974 岡安 彰
- 1974 角田 幸三
- 1974 河村 重次
- 1975 梅田 俊幸
- 1976 小口 俊明
- 1979 堀田 猛
- 2010 川崎 純
- 匿名 6件

**専門学校同窓会**

- 1952 佐藤 松二
- 1952 戸村 敏男
- 1953 橋爪 積
- 1955 原田 鉄司
- 1955 山本 清
- 1956 小嶋 正夫
- 1957 加藤 和夫
- 1957 佐野 吉彦
- 1958 鍛冶倉公幸
- 1958 梶野 和己
- 1959 石川 裕倉
- 1960 関口 守正
- 1961 石渡 守
- 1961 佐久間惣喜
- 1961 清水 正和
- 1961 遠藤 佳和
- 1962 木島 實
- 1962 鈴木 勝三

- 1962 佐藤 敏勝
- 1963 豊岡 昭男
- 1964 石野 赫
- 1964 田中 實
- 1964 井筒 威夫
- 1964 大野 英誠
- 1965 水車 正
- 1966 若杉 吉明
- 1966 赤木 啓利
- 1966 石渡 宏侑
- 1966 小野寺佳子
- 1966 小林 保弘
- 1966 畠山 忠弘
- 1966 佐々木 健
- 1967 村越 秀雄
- 1967 田中 良夫
- 1967 原山 茂
- 1967 室井 昇
- 1968 相澤 良夫
- 1968 川崎 正美
- 1968 久能 守司
- 1968 酒井 史生
- 1968 樋口 幸英
- 1968 山川 義則
- 1968 渡辺 征三
- 1968 須藤 正夫
- 1968 加藤美恵子
- 1969 山本 順一
- 1970 富永 好勇
- 1970 貴船 一夫
- 1970 鈴木 欣吾
- 1971 佐藤 幸吉
- 1971 田島 誠司
- 1971 篠崎 秀夫
- 1971 浦上 信男
- 1971 井上 忠孝
- 1972 細川 信和
- 1972 森谷順次郎
- 1972 古山 正文
- 1973 鎌田 健一
- 1973 山喜 義則
- 1974 近藤 松男
- 1974 紺野 茂男
- 1974 御旅屋 豊
- 1975 清水 晴善
- 1976 藤田 純一
- 1977 島森 清
- 1977 青山 光男
- 1978 井上 博明
- 1979 石田 政樹
- 1979 手塚 泉
- 1979 桜田 澄彦
- 1980 石政 忠男
- 1980 大賀 信之
- 1981 関 裕児
- 1981 河本 裕三
- 1985 酒井 晃
- 1985 櫻井 良尚
- 1985 広瀬 竜也
- 1986 武田 信夫
- 1986 吉田 和弘
- 1986 中村 定光
- 1987 鈴木 靖則
- 1988 町山 和人
- 1990 小武 善行
- 1990 根本 洋一
- 1990 大久保満成
- 1991 下村 賢司
- 1992 室井 均
- 1993 田口 隆士

- 1993 関田 弘美
- 1993 中村 壮一
- 1993 田口 勝一
- 1994 伊藤弘一郎
- 1994 安田 宏樹
- 1995 葉山 恭徳
- 1995 佐野 克直
- 1997 齋藤 研吾
- 2003 天野 義宏
- 2006 長谷川 豊
- 匿名 10件

**企業(代表者)**

- (有)トータク電機
- 電 1999 若栗 彰一
- (株)陸建設
- 建 1993 千葉 恵右
- (株)時和
- 電 1978 石坂 豊
- 神野商事(株)
- 電 2002 神野 悠介
- 戸与金属(有)
- 専 1972 戸田与志夫
- (株)三光製作所
- 電 1970 藤原 俊男
- 牧野電設工業(株)
- 専 1979 牧野 光洋
- タマキハウジング(株)
- 建 2002 玉城 英之
- (株)ゆたか技術士事務所
- 専 1972 加藤 豊
- ルート設計(株)
- 大井 雄司
- 機 1974 大井 一政
- (有)澤口設計
- 建 1971 澤口 正光
- (株)西村建築設計事務所
- 建 1962 西村 武
- クオリティクリエーション(株)
- 電 1973 小澤 和重
- (株)キャンピングカープラザ東京
- 高 1978 木村 元一
- (株)サトウ
- 機 1966 佐藤 勝利
- (株)シダークロウ
- 専 1999 小杉 克彦
- (株)テクノクルー
- 電 1980 矢吹 定夫
- (株)木村設計
- 建 1969 木村 雅俊
- (有)studio harappa
- 建 1990 村島 正彦
- (株)原田設計
- 建 1968 原田 照行
- 原アルミ工業(株)
- 電 1971 原 明男
- (株)吉田建築事務所
- 一級建築士事務所
- 建 1989 吉田 勝彦

**団体**

- 樹輪の会
- K.P.F.R.OB会
- KSOB42
- 混声合唱団M響
- 腹話術の会きずな
- 校友会北海道支部
- 有志一同 (28名)

企業・団体は納入日順記載

皆様から納入いただいた維持協力会費は総額200万円を限度に皆様の所属支部へ支援活動交付金として還元しております。  
 さらに校友会の事業活動費として、学園への援助(新宿祭、八王子祭、夢工祭、ホームカミングデー等)および  
 学生生活への援助(本学の名誉ある文化、体育関連の学生生活等)に運用活用しております。  
**皆様のさらなるご協力をいただきたくお願い申し上げます。**



建設業を取巻く  
「**労災RISK**」と「**第三者RISK**」をカバーする

# オールリスクカバーシステム

## 労災RISK

従業員または協力業者・  
一人親方(大工・左官職  
人・板金職人等が家族で  
営んでいる方)のケガ等

## 第三者RISK

お施主様・隣家・通行人  
等に与えた事故(貴社・  
協力業者以外)

総合労災保険は、Chubb損害保険(株)の業務災害安心総合保険(GPA Pro)と建設Proを組み合わせた商品のペットネームです。

### ■お問い合わせ(取扱代理店)



株式会社オールジャパンインシュアランスサービス

函館オフィス  
〒040-0063 北海道函館市若松町6-7 ステーションプラザ函館7階  
東京オフィス  
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビルディング4階

URL <https://www.ais-hoken.co.jp> ☎0120-116-513



### ■引受保険会社

Chubb損害保険株式会社

本社  
〒141-8679  
東京都品川区北品川6-7-29 ガーデンシティ品川御殿山

# 丸大食品



《丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます。》

お歳暮・お中元の時期のほか、記念品・新築祝・開店祝  
御礼・内祝・快気祝等、いつでもご利用になれます。

丸大食品株式会社 東日本特販営業課

〒135-0051 東京都江東区枝川2-23-2

TEL 03(3647)3270 FAX 03(3647)3274



もっと楽しく もっと先へ  
世界から愛されるホテルでお寛ぎください。



KEIO PLAZA HOTEL TOKYO

京王プラザホテル 〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1  
TEL.(03) 3344-0111 www.keioplaza.co.jp





安全、安心、快適を提供し  
社会に貢献いたします。

三和グループ 三和シャッター工業株式会社 03-3346-3011



これまで、そしてこれからも

**工学院の皆さんのキャンパスライフをサポートします。**



▲八王子食堂部

▼八王子購買書籍部



**工学院大学学園生活協同組合**

本部

TEL : 042-633-9012 / FAX : 042-624-5387

E-mail : kogakuin.h@fc.univcoop.or.jp

URL : <http://www.univcoop.jp/kogakuin/>

ひとりひとりが、  
未来を灯す。

光を灯す。

新しい価値が、生まれる場所に  
みんなが見上げる、その街の象徴に  
人々が安心して暮らす毎日に  
ずっと続いていく明日に。

私たちは、  
総合設備企業の関電工です。

  
www.kandenko.co.jp/

身近なシーンから都市のインフラまで  
火災から大切な命と財産を守る、能美防災



能美防災は、自動火災報知設備と消火設備のトップメーカーです。

**NOHMI 能美防災**

代表取締役会長 橋爪 毅 (本学生産機械工学科 1967 年卒)

本社: 〒102-8277 東京都千代田区九段南4丁目7番3号  
西関東支社: 〒192-0082 東京都八王子市東町2番12号

# No. 1

日頃のご愛顧に感謝申し上げます！

長期固定金利住宅ローン【フラット35】  
お客さま満足度

2018年 オリコン顧客満足度ランキング  
住宅ローン モーゲージバンク部門

選ばれて、**6.2万** 家族

長期固定金利住宅ローン【フラット35】の融資件数

平成30年度実績 **5,457** 件

累計実績 **62,767** 件

※平成30年度末時点。【フラット35】とは、独立行政法人住宅金融支援機構と民間金融機関が提携して皆様に提供している長期固定金利住宅ローンです。



長期固定金利住宅ローン【フラット35】提携金融機関

株式会社

優良住宅ローン



公式HP

本社所在地 東京都新宿区新宿1-3-12 壱丁目参番館5階  
電話 03-6457-7451 (代表)  
代表取締役 田野邊 幸裕 (建築学科 昭和44年卒業)  
登録番号 関東財務局長(4)第01443号  
日本貸金業協会会員番号 第003153号  
設立 平成17年2月25日  
資本金 6億円

全国に13店舗を展開。47都道府県どこでも対応。

東京本社、札幌支店、仙台支店、さいたま支店、静岡店、名古屋支店、  
神戸支店、広島支店、高知店、福岡支店、福岡天神南店、熊本店、鹿児島店

## 広告募集

### 『あなたの会社や製品を紹介しませんか?』

本誌は、日本全国で活躍している工学院大学の卒業生を中心に、約69,000人に配布しています。貴社の活動や製品・サービスを紹介してみませんか。

- ◎募集対象……………企業、組織、団体などの広告宣伝など
- ◎掲載紙 工学院大学校友会報Vol.141
- ◎発行予定日……………2020年4月24日
- ◎発行部数……………約69,000部
- ◎主な配布先……………工学院大学、工学院大学附属高等学校の卒業生、  
専門学校の卒業生、卒業生のご父母、現任教員、  
学園関係者など
- ◎掲載料金……………第2表紙・第3表紙：¥240,000-  
本文内：¥90,000- (1/2ページ) /  
¥180,000- (1ページ)
- ◎募集締切り……………2020年1月15日

詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。

## 記事募集

### 『近況を校友会報やホームページで紹介しませんか?』

広報部では、校友のみなさまの活動を本誌やホームページを使って紹介するお手伝いをします。支部や同窓会、同期会主催のイベント案内、参加者募集や楽しかった活動の報告など、お気軽にお知らせください。

また、校友のみなさまがご執筆された書籍の紹介もいたします。詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。



## 編集後記

校友の皆様のご支援により、今年も無事校友会報をお届けできることとなりました。広報部にとって本号の編集は、平成最後の業務です。この会報がお手元に届く頃は、「令和」の時代を迎えていることでしょう。令和元年となる今年は、校友会も昨年改選された役員とともに新たなスタートを切ります。新時代の校友会にどうぞご期待下さい。

さて、校友会報では毎号、各同窓会、支部のページを設け、様々な分野・組織で活躍中の校友をご紹介していますが、本号では「専門の垣根を越える校友達 ～えっ！あなたも工学院?～」と題して、工学院在学中に学んだ専門分野とは異なる領域で活躍中の校友をご紹介しています。ご出身の分野からはイメージしにくい現職の内容、専門分野と異なる領域で活動するに至ったきっかけをうかがいました。工学院出身者という工学の各分野で活躍する方をイメージしがちですが、実はそんなイメージとはかけ離れた分野で活動されている方も沢山いらっしゃいます。この校友会特集が、現校友のみならず、未来の校友にとっても工学院出身者の幅広い活躍ぶりを知っていただく一助となれば幸いです。今回は、貴方がご存知の「この人も工学院出身?」と校友の皆様が驚くようなお知り合いの活躍ぶりをご紹介ください。

校友会広報部は、新時代も校友の皆様にとって有益な情報を提供すべく編集作業に取り組んでまいります。

最後に、本誌の発行に多大なるご支援・ご協力をいただきました学園理事長、大学学長、附属中学校・高等学校長、特集記事にご登場いただいた高松様、各同窓会長、原稿をご執筆いただいた校友各位、ならびに広告を出稿いただいた企業各社に、この場を借りてお礼を申し上げます。

## 工学院大学 校友会報

vol.140

発行日 ● 2019年4月26日  
発行 ● 一般社団法人工学院大学校友会  
住所 ● 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2  
電話 ● 03-3342-2064 / 03-3340-1649  
FAX ● 03-3342-2035  
メール ● jimukyoku@kogakuin.or.jp

編集 ● 一般社団法人工学院大学校友会 広報部  
[部長] 佐藤 弘規 (建築)  
[副部長] 浅利 信博 (化学)  
[部員] 坂口 教子 (機械)、名取 勝敏 (電気)、  
安宅 恵理 (電気)、新海 俊一 (建築)、  
田中 元樹 (高校)、井上 博明 (専門)

印刷・製本・制作 ● 図書印刷株式会社  
制作協力 ● i'll Products

工学院大学校友会のホームページはこちらから

<http://www.kogakuin-koyukai.jp/>



工学院大学校友会



最新情報・イベント情報は  
こちらでチェック!



携帯スマホは  
こちらからアクセス!

